

令和3年度

国分寺市子ども若者・子育て
いきいき計画
(実施状況)

国分寺市子ども家庭部
子ども若者計画課

もくじ

①	計画の位置づけ，体系図，評価方法	1
1	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の位置づけ	2
2	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の体系図	3
3	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の評価方法	4
②	国分寺市子ども・子育て会議答申書	5
③-1	評価方法，評価の概要（計画第4章評価部分）	7
③-2	施策評価書（計画第4章評価部分）	13
	基本目標Ⅰ - 施策（1）	14
	- 施策（2）	24
	基本目標Ⅱ - 施策（1）	30
	- 施策（2）	36
	- 施策（3）	40
	- 施策（4）	52
	基本目標Ⅲ - 施策（1）	64
	- 施策（2）	76
	基本目標Ⅳ - 施策（1）	82
	- 施策（2）	92
	- 施策（3）	108
④-1	子ども・子育て支援事業計画評価書（計画第5章評価部分）	113
④-2	子ども・子育て支援事業計画実績値等（計画第5章評価部分）	117



計画の位置づけ，体系図， 評価方法

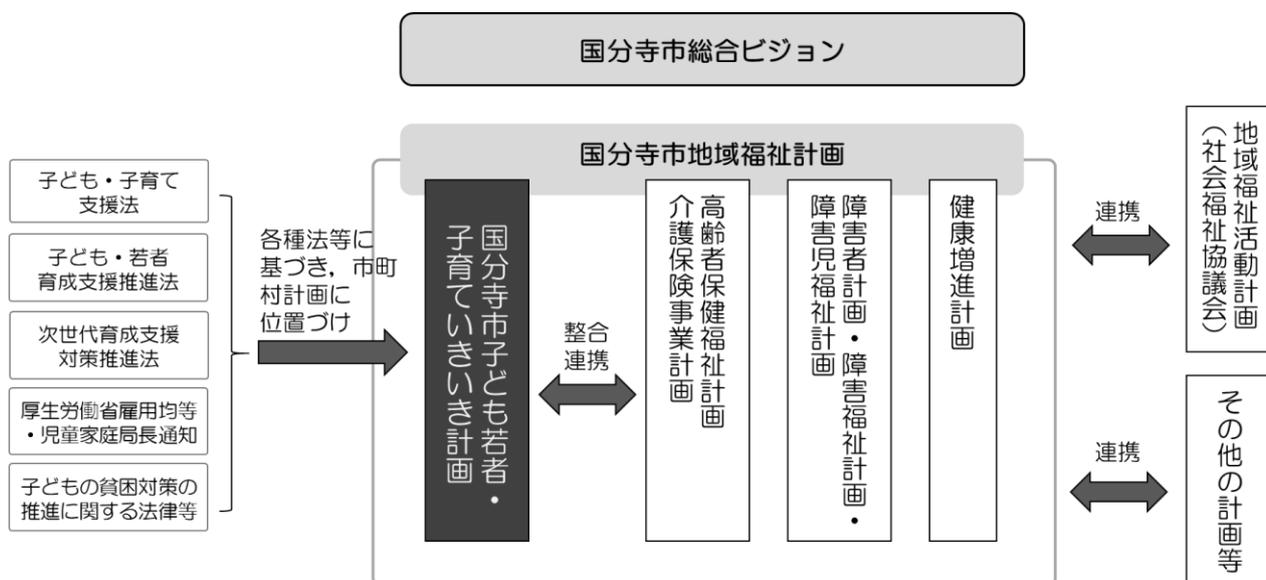
国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（以下「本計画」といいます。）は、「国分寺市地域福祉計画」の子ども分野に係る計画として位置づけられ、本市における今後の子ども・子育て・若者支援施策の具体的な方向や取組内容について定めるものです。

また、本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」、子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に基づく「市町村子ども・若者計画」を包含するとともに、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく「市町村行動計画」、平成26年6月17日付雇児第0617第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」として位置づけられるものです。

さらに、上記法律等に基づく計画の他に、子どもの貧困対策の推進に関する法律及び子どもの貧困対策に関する大綱を勘案した子どもの貧困対策に係る市の方針としての位置づけも含まれます。

なお、本市では、子ども・子育て・若者支援を推進する総合的な計画として、「国分寺市総合ビジョン」をはじめ、上記「国分寺市地域福祉計画」等の上位・関連計画と整合性・連携を図りながら、子ども・子育て支援施策や若者支援施策を進めていきます。

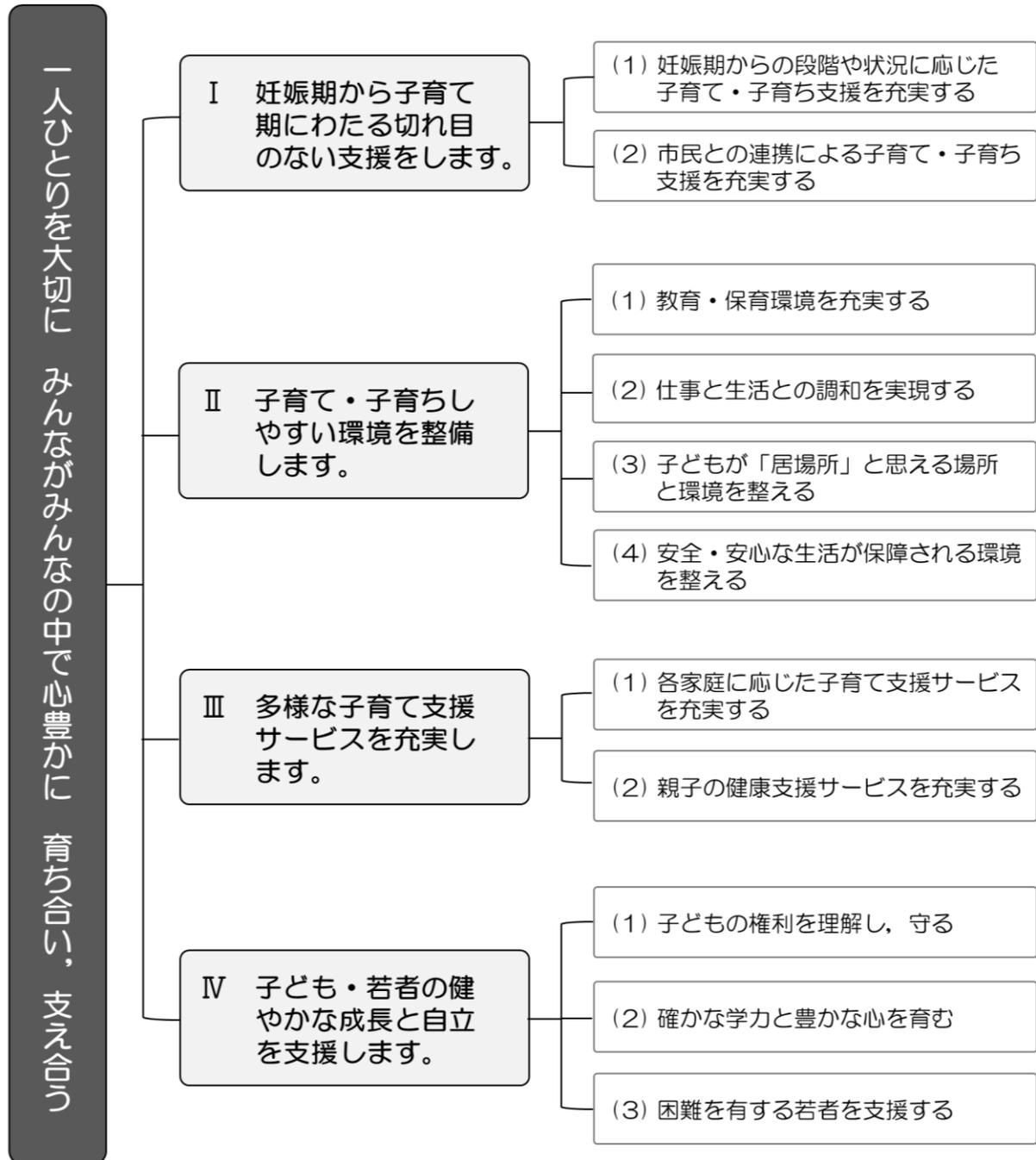
● 本計画の位置づけ（図解）



[基本理念]

[基本目標]

[施策]



● 第5章の本計画上のつながり

第5章では、主に子ども・子育て支援法第61条に基づく「子ども・子育て支援事業計画」として、同法に定められた事業等について、各年度の量の見込み及びその確保の方策等について記載（一部第4章にも記載しています。）しています。

(1) 市の評価の実施

本計画に掲げる事業について、当該事業の実施所管課が評価を行います。

なお、第4章に掲げている重点事業については、各施策の方向性に基づいて事業が実施されているかを確認し、その上で、各施策の進捗状況の評価を行います。

(2) 国分寺市子ども・子育て会議への諮問

計画の適切な進行管理を進めるため、本計画第6章に基づき、第4章における市の評価（各重点事業の実施状況も含みます。）及び第5章における実績値等（以下「本市評価」といいます。）を外部委員会へ提示し、意見を求めます。

本計画の評価においては、国分寺市子ども・子育て会議へ諮問し、意見をいただくこととされています。

(3) 国分寺市子ども・子育て会議の答申（評価）

国分寺市子ども・子育て会議は、本市評価に係る諮問を受け、答申（評価）を行います。

具体的には、同会議からの評価は、施策評価書（計画第4章評価部分）及び子ども・子育て支援事業計画評価書（計画第5章評価部分）の中の「国分寺市子ども・子育て会議の評価」部分に記載されます。

(4) 評価の確定

本計画の評価は、国分寺市子ども・子育て会議からの答申（評価）を経て確定します。

本計画に掲げる事業を実施している所管課は、自己評価及び同会議からの答申（評価）を踏まえた上で、各事業における取組の充実・見直しを行っていきます。



国分寺市子ども・子育て会議 答申書



答申第2号

令和4年11月7日

国分寺市長 井澤邦夫様

国分寺市子ども・子育て会議

会長 民秋言

答申書

令和4年8月1日付け諮問第1号により諮問のあった国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）の実施状況について、国分寺市子ども・子育て会議設置条例（平成25年条例第55号）第3条の規定に基づき、下記のとおり答申する。

記

国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）における令和3年度の実施状況については、国分寺市の評価内容を確認し、別紙「施策評価書」及び「子ども・子育て支援事業計画評価書」中「国分寺市子ども・子育て会議の評価」に記載のとおり評価する。



評価方法，評価の概要
(計画第4章評価部分)

評価方法、評価の概要（計画第4章評価部分）

（1）重点事業の評価（3段階評価）／ 施策の方向性に係る実施状況

重点事業は、下表のとおり3段階で実施します。

また、所管課による重点事業の評価に併せて、施策の方向性に係る実施状況（施策の方向性に基づき各重点事業が実施されているかどうか）のヒアリングを実施し、確認します。

なお、施策評価書では、各施策に掲げる重点事業の実施状況を「個別事業の実施状況」としてまとめて記載します。

量的・質的実績評価基準		重点事業の評価基準	
a	令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。	A	令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
b	令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね [*] 達成した。	B	令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
c	令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。	C	令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。

※ 当該年度の目標値に対して80%以上の実績値であることを基準としています。

（2）施策の進捗評価（4段階評価）

重点事業の評価結果及び施策の方向性の実施状況から、施策の進捗状況の評価を下表のとおり4段階で実施します。

なお、施策の進捗状況の評価について特記すべきことがある場合は、その旨を加筆します。

施策の進捗評価基準
順調に進んでいる。
おおむね順調に進んでいる。
やや遅れが生じている。
遅れが生じている。

(3) 国分寺市子ども・子育て会議による答申（評価）

国分寺市子ども・子育て会議は、施策評価書に記載の個別事業の実施状況及び施策の方向性に係る実施状況を確認・評価した上で、施策の進捗状況の評価を行います。

同会議においても、(2)の4段階で評価（本市評価と同様であればその旨の記載に代えることも可）をした上で、特記すべきことがある場合は、その旨を加筆します。

(4) 各施策の評価概要（総括表）

達成状況		事業数	実績例
A	令和6年度の目標を達成した。 又は、令和6年度目標に向けた 令和3年度目標を達成した。	27	<ul style="list-style-type: none"> ● こくぶんじ青空ひろば〔通番9〕 新規実施公園1箇所を含む実施公園10箇所について、乳幼児親子の遊びの場を提供することにより、保護者同士が交流し、また、地域住民が子どもの遊びを身近に感じ、ボランティアとして青空ひろばに参加するなど、子育て支援に関することで子育て支援への理解が進んだ。 ● 国分寺市プレイステーション事業〔通番23〕 施設の移転後2年目を迎え、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、段階的に施設の利用制限を解除していった。あわせて冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業を展開し、当該施設の機能強化を図った。 ● 習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善〔通番57〕 全校が、算数・数学の習熟度別のコースを設定し、児童・生徒の実態に応じた授業を工夫して行った。
B	令和6年度目標に向けた令和3 年度目標をおおむね達成した。	37	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児母性健康相談（保健センター・ミ二相談会含む）〔通番38〕 安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し実施した。乳幼児母性健康相談は予約制で実施した他、来所に不安を抱える市民に対して電話での相談も可とした。利用希望者全員予約を取ることができたことから、市民が相談の場を利用でき、育児の不安を軽減することができた。 ● 障害児相談支援〔通番44〕 相談支援事業所連絡会（年12回）及び障害児通所支援事業所連絡会（年2回）を開催し、事業所、障害者基幹相談支援センター及び障害福祉課で課題を共有するとともに、意見交換を行ったことで、より適切な支援計画を基にサービスが提供され、支援の質の向上に繋がった。
C	令和6年度目標に向けた令和3 年度目標を下回った。	6	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童発達支援センターの設置〔通番45〕 所管課内で、児童発達センターの運営の方向性、事業内容及び機能について検討した。 ● ジュニアサマー野外活動交流会〔通番63〕 佐渡市の子どもたちとの交流を図ることができなかった。

(5) C評価「令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。」

基本目標 施策	通番	事業名	3年度 所管課	令和6年度目標		令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		令和3年度実績		令和3年度実績評価			
				量的	質的	量的	質的	量的	質的	量的		質的	
										評価	評価理由と課題	評価	評価理由と課題
Ⅱ (4)	31	自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施	防災安全課	実施団体数 自主防犯活動団体数：56団体 協力事業者数：23事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	実施団体数 自主防犯活動団体数：50団体 協力事業者数：20事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	実施団体数 自主防犯活動団体数：35団体 協力事業者数：16事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で防犯活動を実施したが、自主防犯活動団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体もあった。	c	令和3年度の目標を達成しなかったため。	c	コロナ禍のため、主な自主防犯活動団体である自治会・町会の活動が停滞し、周知や防犯用品の支給が進まなかった。
Ⅲ (1)	39	病児・病後児保育事業	保育幼稚園課	5施設(22人 内7人)	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。	5施設(22人 内7人) 都立小児総合医療センターにおける、国分寺市・府中市・国立市に在住の子どもが利用できる病児・病後児保育施設の令和3年12月開設に向けて、東京都・小児総合医療センター・関係3市で協議・手続を進め、施設の周知・登録・利用が順調に行っている。	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。	5施設(22人 内7人) ※都立小児総合医療センター病児・病後児保育室は、開設当初は定員半数で運用。国分寺市・府中市・国立市民の広域利用施設となる小児総合医療センター病児・病後児保育室が令和3年12月に開設し、関係各所で協議・手続を進め、施設の周知・登録が順調になされたが、国分寺市民の利用に至らなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用は激減したが、病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより質の高い病児・病後児保育を実施することができた。病児・病後児保育保護者負担金の支払いについては、電子決済等はシステム改修費が高額であり、現状では対応が困難なため、その他手続の簡素化含め、有効な手段の導入には至っていない。	b	都立小児総合医療センター病児・病後児保育室は、当初の予定どおり、令和3年12月に開設し、施設の周知・登録が順調に行うことができたが、開設当初は、定員の半数での運用とされ、国分寺市民の利用に至らなかったため。	c	病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより質の高い保育は行うことができたが、手続の簡素化については、有効な手段の導入に至らなかったため。
Ⅲ (1)	45	児童発達支援センターの設置	子育て相談室	1か所	地域の中核的な療育支援施設として整備されている。	関係部署を含めた事業内容の検討会の実施 全2回程度	児童発達支援センターとしての事業内容及び機能について検討し、その結果が取りまとめられている。	関係部署を含めた事業内容検討会の実施 未実施	所管課内で、児童発達センターの運営の方向性、事業内容及び機能について検討した。	c	こどもの発達センターつくしんぼの現施設用地について、急速地権者との間に、施設用地の継続利用に関する交渉が生じた。児童発達支援センター設置の検討には交渉結果を考慮する必要はあるが、交渉に時間を要したことで検討に留まってしまう、関係部署を含めた会議の開催に至らなかった。	c	児童発達支援センターの設置、事業内容及び機能について、所管課内で検討したが、関係部署を含めた検討に至らなかった。

基本 目標 ／ 施策	通番	事業名	3年度 所管課	令和6年度目標		令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		令和3年度実績		令和3年度実績評価			
				量的	質的	量的	質的	量的	質的	量的		質的	
										評価	評価理由と課題	評価	評価理由と課題
IV (2)	61	受験生チャレンジ支援 貸付事業	生活福祉課	相談件数：841件 貸付決定件数：84件	進学を希望する子ども が進学できている。	相談件数：841件 貸付決定件数：84件	進学を希望する子ども が進学できている。	相談件数：449件 貸付決定件数：61件	進学を希望する子ども が進学できている。	c	相談件数及び貸付決定件数 ともに目標を下回ったた め。 なお、本事業の所得基準・ 収入基準は、生活保護世帯 の1.1倍以下である。当市 の生活保護率は9.1%（令 和4年3月）であり、26市 平均保護率17.4%を大きく 下回っている。学齢期の子 どもを育てている生活困窮 者数を把握することが難し いことから、本計画策定 時、過去5年間の平均を基 に、相談件数・貸付決定件 数の目標値を定めたが当市 の現状を反映していなかつ た可能性がある。次年度以 降の目標値については、現 状を踏まえた精査を行い設 定する。	a	進学希望があり貸付を 行った子どもが進学でき たため。
IV (2)	63	ジュニアサマー野外活 動交流会	スポーツ振 興課	国分寺市参加者数：30 人	佐渡市の子どもたちと の交流が図られている。	東京2020オリンピック パラリンピックの1年 延期に伴い、時期が重 複することから実施し ないこととする。	佐渡市の子どもたちと の交流を図ることがで きなかった。	東京2020オリンピック パラリンピック競技大 会の1年延期に伴い、 時期が重複することか ら実施しないこととし た。	佐渡市の子どもたちと の交流を図ることがで きなかった。	c	東京2020オリンピックパ ラリンピック競技大会の1年 延期に伴い、時期が重複す ることから実施しないこと としたため。	c	佐渡市との友好関係は継 続できているものの、事 業自体が実施できず中止 となったことにより交流 を図ることができな かったため。
IV (2)	65	史跡駅伝事業	スポーツ振 興課	小学生40組 中学生40組	歴史や自然を生かした スポーツイベントを開 催するとともに、小・ 中学生の体力・競技力 の向上が図られてい る。	小学生40組 中学生40組	歴史や自然を生かした スポーツイベントを開 催するとともに、小・ 中学生の体力・競技力 の向上が図られてい る。	新型コロナウイルス感 染症感染拡大の影響に より（参加者募集の段 階で東京都にまん延防 止等重点措置が発出さ れていたため）事業を 中止とした。	スポーツイベントが中 止となり、小・中学生 の体力・競技力の向上 を図ることができな かったものの、安定的 に事業を実施できるよ う、スポーツ関係団 体・学校・庁内関係各 課との関係構築に努め た。	c	新型コロナウイルス感染症 感染拡大の影響により（参 加者募集の段階で東京都 にまん延防止等重点措 置が発出されていたため） 事業を中止としたため。	c	今後より安定的に事業を 実施できるよう、スポー ツ関係団体・学校・庁内 関係各課との関係構築に 努めたものの事業は中止 となり、小・中学生の体 力・競技力の向上を図 ることができなかったた め。



施策評価書
(計画第4章評価部分)

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番1 利用者支援事業（基本型）の充実では、研修や地区連絡会の実施により、地域の子育て支援活動団体等のそれぞれの特性を活かした子育て支援サービスについて情報交換の機会を設け、運営支援を行った。通番2 出産・子育て応援（ゆりかごこくぶんじ）事業及び通番3 両親学級（わくわくクラス・ひかりクラス・プレママプレパパセミナー）では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、オンラインによる手法を導入する等、事業の目標を達成するための工夫を行った。通番4 子育て世代包括支援センター事業（「親と子の相談室」を含む）では、産後ケア事業を開始し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図った。通番6 母子・父子自立支援プログラム策定事業及び通番7 ひとり親家庭自立支援給付金事業では、事業の利用者数等、量的目標は達成できなかったものの、事業を利用した方は就労等の目標を達成し、自立した生活を送れるよう支援した。

2 施策の方向性に係る実施状況

令和3年度に入ってから、徐々に対面による事業の実施が可能となってきた。通番1 利用者支援事業（基本型）の充実では、コロナ禍で出産し、地域とのつながりが少なく、子育てに不安や悩みを抱えている子育て家庭を支援するため、地域の巡回回数を増やして相談に対応した。通番2 出産・子育て応援（ゆりかごこくぶんじ）事業では、従来の対面に加え、電話やオンラインでも面接を実施することで、妊婦の不安を軽減できる体制を構築し、各種子育てサービスに関する情報提供を行った。通番3 両親学級（わくわくクラス・ひかりクラス・プレママプレパパセミナー）においてもオンラインにより開催し、情報提供に努めた。

通番4 子育て世代包括支援センター事業（「親と子の相談室」を含む）では、相談業務での対応や通番1及び通番2の事業を実施していく中で受けた相談等から継続的に支援が必要な方を把握し、子ども家庭支援センター等の関係機関と連携して支援を行うとともに、「国分寺子ども・子育て支援円卓会議」への参加や民生委員・児童委員、主任児童委員との懇談の場を設定する等、同事業の更なる周知を図る取組を実施した。

通番5 保育コンシェルジュ事業では、保護者からの保育施設の保育サービスに係る相談に対し、的確かつ寄り沿った情報提供や案内を行い、特に、障害がある児童の入所申請時には、希望施設と連絡調整を行うなど、保護者の負担軽減を図った。

各種子育てサービスにおいて、一人ひとりの求めに応じたものとなるように、「暮らしのガイド」、「ホッとおれんじ こくぶんじ」や「保育所等入所案内」といった子育てサービスを掲載した冊子を活用し、関係機関等と連携しながら情報提供を実施した。また、ひとり親家庭向けの情報を収集し「ひとり親家庭のしおり」の改訂版を作成した。さらに、周知媒体・方法についてもホームページや市報への掲載といった全市民を対象とするものだけでなく、個別に関係事業の案内をすることや、関係部署と連携し、郵送物に同封する等の工夫を行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番5 保育コンシェルジュ事業については、利用者数等その他量的な指標をもって表記することによって、より明確な評価がしやすくなるを考える。については、令和6年度目標達成に向けた令和5年度目標のあり方について工夫されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 各種子育てサービスに係る情報については、サービスが必要な人に必要な情報が届いていることが重要である。情報の周知方法としては、市からの発信だけでは対象者に届いていない場合や、対象者に情報が届いていてもその情報の有用性に気づけていない等の可能性もあることから、サービス利用者を支援する団体や市民等を活用した周知方法についても検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
1	利用者支援事業（基本型）の充実		子育て相談室
事業内容			
子育て応援パートナーが、親子ひろば事業など地域の子育て支援施設等を巡回し、子育て家庭等からの相談に応じるとともに、子育て支援事業及び保育サービスの利用に当たっての情報提供及び助言を行う。			
令和6年度目標			
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内3か所 ※子育て世代包括支援センター事業を除く。		
	地域子育て支援拠点事業や地域の子育て支援活動を行う団体との連携が強化され、一人ひとりに合わせたきめ細やかな子育て支援サービスが提供されている。		
質的			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内2か所		
質的	市民一人ひとりにあわせた子育て支援サービスが提供できるよう、地域子育て支援活動団体等の運営支援を行い、職員等のスキルの向上を図る。		
令和3年度実績			
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内2か所		
質的	【サービスの利用支援】 コロナ禍で出産し、地域とのつながりが少なく、子育てに不安や悩みを抱えている子育て家庭を支援するため、地域（公園等）の巡回回数を増やし、相談に応じた。また、昨年度に引き続き、地域の情報を収集し、ツイッターやホームページ等のSNSを活用し、市民へ情報発信を行った。		
	【地域社会資源運営支援】 地域子育て支援拠点事業や地域の子育て支援活動を行う団体との関係性の構築に向け、月1回以上の巡回訪問と地区連絡会（各地区2回 計6回）を実施した。 地域の子育て支援活動団体等の職員向けに研修を2回実施し、地域の社会資源の育成を実施した。（接遇研修、スキルアップ研修（利用者のための子育て応援パートナー事業））		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標値とおり、利用者支援事業（基本型）を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	コロナ禍により変更となっている地域の子育て支援サービスに関する情報を収集するとともに、SNS等を活用し、積極的な情報発信に努めた。また、地域子育て支援活動団体等を対象とした地区連絡会を実施し、コロナ禍における子育て家庭の抱える課題を共有し、それぞれの特性を活かした子育て支援サービスの提供について話し合える機会を設けた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
2	出産・子育て応援（ゆりかご・こくぶんじ）事業		健康推進課
事業内容			
全ての妊婦を対象として、妊娠期から専門職がかかわることにより、出産・子育てに関する不安を軽減する。また、各家庭のニーズに応じた支援を妊娠期から子育て期にわたって切れ目なく行うことにより、妊婦並びに乳幼児及びその保護者の心身の健康の保持及び増進を図る。			
令和6年度目標			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：100%		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：100%		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：91% （妊娠届数に対する面接者数の割合。以下同じ。）		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：96% （ゆりかご・こくぶんじ利用者数に対する同事業の利用者アンケートで「満足している」と回答した者の割合。以下同じ。）		
令和3年度実績			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：77.8%		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：95.8%		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価 c	評価理由等	対象者に対し、電話・手紙で勧奨を続けたり、対面での面接が不安な方へはオンライン面接なども実施したが、連絡のつかない方や面接を希望されない方もおり、目標数値達成には至らなかった。対象者に対し引き続き周知を行っていく。
	評価 b	評価理由等	令和3年度目標はおおむね達成した。引き続き満足度の向上に努める。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
3	両親学級 (わくわくクラス・ひかりクラス・プレママプレパパセミナー)		健康推進課
事業内容			
妊婦とその家族を対象として、妊娠・出産・育児に関する知識の習得、母子保健サービスに関する情報提供、妊娠中の不安の軽減を図り、地域での仲間づくりを進める。			
令和6年度目標			
量的	両親学級：10回実施 プレママ・プレパパセミナー：3回実施		
	地域での仲間づくりができています。 健康・妊娠・育児に関する知識や情報を得ることができ、安心して出産・育児ができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	両親学級開催回数：10回 プレママ・プレパパセミナー開催回数：3回		
	新型コロナウイルス感染対策を行いながら、来所とオンラインで開催する。 妊婦とそのパートナーが健康・妊娠・育児に関する知識や情報を得ることができ、安心して出産・育児ができる。		
令和3年度実績			
量的	両親学級16回実施（わくわくクラス：4回 80人。 ひかりクラス：12回 353人（内5回はオンライン実施） プレママ・プレパパセミナー2回実施 27人		
	妊婦とそのパートナー等家族が妊娠・出産に関する知識を得る場となり、地域で安心して出産・子育てすることにつながっている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策をしながら、妊娠期・子育て期に必要な知識や情報をオンラインでも提供した。プレママ・プレパパセミナーは目標に掲げていた回数には至っていないが、オンラインでの開催や、個別対応する等、妊婦とそのパートナーが安心して出産・育児ができるよう不安の軽減に努めた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	両親学級（ひかりクラス）は12回の実施の内、オンラインでの実施を5回実施した。両親学級（わくわくクラス、ひかりクラス）は、合計実施回数16回であり、目標回数10回を達成した。プレママ・プレパパセミナーは目標回数3回の内、2回開催し、部分達成となったが、両親学級は、目標回数10回の内、16回開催し、目標を達成した。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため、両親学級のひかりクラスについては12回中、5回をオンラインで開催をした。コロナ禍であっても、妊婦とそのパートナーが健康・妊娠・育児に関する知識や情報をオンラインでも得ることができ、安心して出産・育児ができるよう情報提供を行ったことから、目標をおおむね達成したと評価した。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
4	子育て世代包括支援センター事業 （「親と子の相談室」を含む）		健康推進課
事業内容			
主に妊産婦及び乳幼児期の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて関係機関との連携を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的なサービスを提供する。このことを通じて、妊産婦及び乳幼児等の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、切れ目のない支援を提供する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい		
	質的	①妊娠・出産について満足している者の割合：85% ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：95%	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい		
	質的	①妊娠・出産について満足している者の割合：73.75% （3～4箇月児健診対象者に実施するアンケートへの回答者数に対する同アンケートにおいて「妊娠・出産について満足している」と回答した者の割合。以下同じ。） ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：92% （3～4箇月児，1歳6箇月児及び3歳児健診対象者に実施するアンケートへの回答者数に対する同アンケート中設問「本市で子育てを継続したいと思う」において「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合。以下同じ。） ※アンケート…「すこやか親子21」（国実施）に基づき実施するアンケート	
令和3年度実績			
量的	家族などの手伝いがいない，体調の不良・育児に不安がある産後の母子に対して，産婦の心身の不調を未然に防止し，母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援するために，出産後5カ月を経過するまでの産婦に対し，産後ケア事業（デイサービス）を開始した。 ・産後ケア事業 利用世帯数62(実数)，266(延数) ・親と子の相談室 年3回実施。（市民相談6件，保健師相談2件） ・地域における健康教育（出前講座）年2回実施。 ・母子保健及び子育て支援に係る支援者等への研修会 年2回実施。		
	質的	①妊娠・出産について満足している者の割合：80.2% ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：95.8%	
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	a	評価理由等
	質的		
結果	評価	A	評価指標
	質的		
妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実として産後ケア事業を開始した。引き続き支援の充実を図る。			
令和3年度実績にあるとおり，目標は達成したため。			
A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。			
※ a，b及びcの評価指標についても同様			

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
5	保育コンシェルジュ事業		保育幼稚園課
事業内容			
保育コンシェルジュが利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。さらに、関係機関との連絡・調整を行い、利用者目線で、一人ひとりに寄り添った子育て支援を実施する。			
令和6年度目標			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
質的	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
質的	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
令和3年度実績			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また、障害がある児童の入所申請には、希望施設と連絡調整を実施し、見学の日程調整・同行見学を行うなど、保護者の負担軽減を図った。		
質的	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また、障害がある児童の入所申請には、希望施設と連絡調整を実施し、見学の日程調整・同行見学を行うなど、保護者の負担軽減を図った。		
	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また、障害がある児童の入所申請には、希望施設と連絡調整を実施し、見学の日程調整・同行見学を行うなど、保護者の負担軽減を図った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	平成31年度より、コンシェルジュを2名体制とし、令和6年度目標どおりの体制を確保出来ているため。
	a		
質的	評価	評価理由等	きめ細やかに保護者への情報提供・相談等の利用者支援を行い、教育・保育施設の円滑な利用をサポートできた。利用者の要望全てに答えることは難しいが、今後もきめ細やかに利用者支援を行っていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
6	母子・父子自立支援プログラム策定事業		生活福祉課
事業内容			
児童扶養手当受給者等の自立を促進するために、児童扶養手当受給者等の相談を受け、個々の状況やニーズ等に対応した自立支援プログラムを策定し、継続的な自立・就業支援を行う。			
令和6年度目標			
量的	プログラム策定数：8件		
質的	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	プログラム策定数：7件		
質的	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができている。		
令和3年度実績			
量的	プログラム策定数：4件		
質的	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 C	評価理由等	新規にひとり親自立支援に係る給付金の申請をされる方や就労支援を希望する方が少なかったことから、プログラム策定件数が目標値に届かなかったため。
質的	評価 a	評価理由等	プログラムを策定した市民が、それぞれの状況に応じた就労や修学ができたことで、自立した生活を送ることができたため。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
7	ひとり親家庭自立支援給付金事業		生活福祉課
事業内容			
ひとり親家庭の自立の促進，ひとり親家庭の親の学び直しやひとり親家庭の児童の進学を支援することを目的に，①自立支援教育訓練給付金，②高等職業訓練促進給付金，③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の給付金を支給する。			
令和6年度目標			
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：14人		
質的	安定的に雇用され，経済的に自立できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：13人		
質的	安定的に雇用され，経済的に自立できている。		
令和3年度実績			
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：10人		
質的	安定的に雇用され，経済的に自立できている。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 C	評価理由等	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数が目標に到達しなかったため。
質的	評価 a	評価理由等	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等を利用した方のうち，高等職業訓練促進給付金を受給し修了した3人全員が，取得した資格を活用し就職できたため。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a，b及びcの評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、通番8 子育て支援活動の推進（地域組織化活動）ではイベントの中止や地域の子育て支援活動内容の変更、通番10 児童館における行事の充実及び通番11 児童館におけるボランティア等受入れ事業ではおまつり等の大規模な行事を中止せざるを得ない状況であった。しかし、通番8 子育て支援活動の推進（地域組織化活動）では、市民が最新の子育て支援サービス状況の確認ができるよう地域の子育て支援活動団体等と協力した情報発信や、子ども家庭支援センター内で実施する親子ひろば事業における市民ボランティアの受入れを行い、市民や市民活動団体等との連携によりサービスの提供を行った。通番10及び通番11では、毎月のボランティアによる読み聞かせなどの行事を再開し、多世代交流や地域の人材との連携を図ることができた。通番9 こくぶんじ青空ひろばについては、新たに1か所の公園で青空ひろばを実施したことにより、東部地域からの利用登録者と延べ開催日数が増加し、総体として利用人数の増加につながった。

2 施策の方向性に係る実施状況

地域でともに支え合う環境づくりを進めるため、通番8 子育て支援活動の推進（地域組織化活動）においては、地域で子育て支援活動を実施する事業者、団体、子育て支援活動に興味のある市民と行政が定期的に集まり、情報交換できる場を設けた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため活動内容が変更となった団体が多かったことから、各団体の広報媒体で他団体の情報を掲載する等、地域で活動する団体の協力のもと、市民への情報提供を行った。

通番9 こくぶんじ青空ひろばでは、**1**にも記載のとおり、新たに1か所の公園で青空ひろばを実施したことや開催日が増加したことから、利用者数も増え、地域における子育て支援のきっかけづくりにつながる事業を実施できた。

通番10 児童館における行事の充実及び通番11 児童館におけるボランティア等受入れ事業については、おまつり等の大規模な行事の実施はできなかったが、地域の方をボランティアとして受け入れ、毎月の行事（読み聞かせやけん玉、小学生向けお話し会等）を再開し、多世代や地域との交流を図った。

各事業とも、土曜日の開催（通番10は、開館）、ボランティアの受入れ等を行い、働いている保護者等も利用しやすいよう配慮をした形での実施に努めた。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各事業において、内容の変更や実施を中止せざるを得なかったものもあったが、通番9 こくぶんじ青空ひろばでは、新たに1か所の公園で青

空ひろばが実施できたことや、各事業が目的を達成するべく工夫を凝らしながら事業の実施や再開をしたものもあったことから、本施策に対する評価については、このように判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
8	子育て支援活動の推進（地域組織化活動）		子育て相談室
事業内容			
<p>地域に「ともに支え合う」環境づくりを進めるために、市内において実施されている子育て支援事業や活動を、市民活動団体等との連携のもと支援する。</p> <p>①子ども・子育て支援円卓会議の実施 ②市内子育て支援活動の広報 ③市内子育て支援活動の活動援助（イベント実施，研修含む） ④地域ボランティアの育成，活動支援</p>			
令和6年度目標			
量的	①毎月1回開催 ②～④年1回		
	子どもとその家庭を支援するネットワークが形成され，市民や市民活動団体等との日常的な連携・協働関係のもと，市民への円滑なサービスが提供されている。		
質的			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	①毎月1回開催 ②～④年1回		
	地域で子育て支援活動を実施する市民や市民活動団体等との連携のもと，市民への円滑なサービスが提供されている。		
質的			
令和3年度実績			
量的	①12回実施 ②市報の折り込み記事として，8月1日に「こっこっこだより」を発行した。 ③イベント：新型コロナウイルス感染対策により中止。 ④子ども家庭支援センター内で実施する親子ひろば事業において，市民ボランティアの受入れを行った。（高校生ボランティアを2回受入れた。）		
	新型コロナウイルス感染症対策により，地域の子育て支援活動内容に変更が多かったため，市民が最新の子育て支援サービス状況が確認できるよう地域の子育て支援活動団体等と協力し，互いの広報媒体を活用し，子育て支援活動の情報発信を行った。 感染症対策を行いながら，市民の特技等が活かせる場を提供することができた。		
質的			
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	おおむね目標どおりに，実施することができた。
	b		
質的	評価	評価理由等	地域の子育て支援団体等との連携を図り，コロナ禍における地域の子育て支援活動の状況をツイッターやホームページなどで市民へ発信し，円滑なサービスの提供を行うことができた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
9	こくぶんじ青空ひろば		子ども子育て支援課
事業内容			
乳幼児及びその保護者等に対し，市内公園を活用して，安心して過ごすことのできる遊びの場を提供することにより，保護者同士の交流を図るとともに，地域全体で子どもを見守り，育てる環境をつくる。			
令和6年度目標			
量的	10公園		
質的	市内公園を活用した乳幼児親子の遊びの場を提供することにより，保護者同士が交流し，また，地域住民が子どもの遊びを身近に感じ，子育て支援について理解している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	10公園		
質的	新規実施公園1箇所についても，乳幼児親子の遊びの場を提供することにより，保護者同士が交流し，また，地域住民が子どもの遊びを身近に感じ，子育て支援について理解している。		
令和3年度実績			
量的	10公園		
質的	新規実施公園1箇所を含む実施公園10箇所について，乳幼児親子の遊びの場を提供することにより，保護者同士が交流し，また，地域住民が子どもの遊びを身近に感じ，ボランティアとして青空ひろばに参加するなど，子育て支援に関わることで子育て支援への理解が進んだ。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 a	評価理由等	青空ひろば事業の実施されていなかった東部地域の活動を実施し，10公園の場所を確保した。
質的	評価 a	評価理由等	青空ひろばの活動場所が増えたことで東部地域からの利用登録者が増え，乳幼児親子の保護者同士が交流することができ，孤立しがちな乳幼児と保護者が安心して立ち寄ることができる場所となった。また，地域住民がボランティアとして青空ひろばに参加し，子育て支援に関わってもらうことができた。
結果	評価 A	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
10	児童館における行事の充実		子ども子育て支援課
事業内容			
地域に根ざし、地域に開かれた児童館として、乳幼児期、児童期及び思春期の発達段階に応じた子どもたちの健全な遊びや日常生活を支援するとともに、地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、様々な行事等を実施し、地域とともに子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	多世代交流行事実施回数：30回 地域とのかかわり行事実施回数：120回 ※全児童館の合計実施回数		
	地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、事業が実施されている。		
質的			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	多世代交流行事実施回数：12回 地域とのかかわり行事実施回数：48回 ※全児童館の合計実施回数		
	感染症の蔓延状況を鑑みながら地域社会との連携及び高齢者・学生との多世代交流を図り、感染症対策に留意しつつ、事業が実施されている。		
質的			
令和3年度実績			
量的	多世代交流行事実施回数：68回 地域とのかかわり行事実施回数：97回 ※全児童館の合計実施回数		
	感染症対策のためおまつりや観劇会など大規模な行事の実施はできなかったが、月ごとの読み聞かせ行事などは再開することができ、多世代や地域との交流を行えた。		
質的			
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	感染症対策を行いながらも、地域の高齢者ボランティアによる読み聞かせなどの多世代交流行事や、人形劇や収穫体験など地域とのかかわり行事を実施し、令和3年度目標を達成することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	感染症対策のためおまつりや観劇会など大規模な行事の実施はできなかったが、月ごとの読み聞かせ行事などは再開することができ、多世代や地域との交流を行えた。今後も、感染症対策を行いながら、大規模イベントの再開も検討していく。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
11	児童館におけるボランティア等受入れ事業		子ども子育て支援課
事業内容			
児童館において、多様な経験・知識等を持つ地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築いていき、地域とともに子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計140人		
質的	地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係が築かれている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計75人		
質的	行事の再開に伴いボランティアを受け入れ、参加を通して児童館の活動に理解と協力を得て、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築く。		
令和3年度実績			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計59人（継続登録：54人 新規登録：5人）		
質的	新型コロナウイルス感染症予防のため、大規模な行事は実施できなかったが、毎月のボランティアによる読み聞かせなどの行事は再開でき、ボランティアも積極的に活動に取り組んでくれたことで、地域の人材との連携が図れた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	継続登録希望の声が多く聞かれたが、新型コロナウイルス感染症の状況から大規模なおまつりなど実施できなかったため、新規登録数は令和3年度目標を達成することができなかった。感染症対策を行いながら行事の再開に努め、ボランティアの受入れをしていく。
	C		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の状況から実施できなかった行事もあるが、感染症対策を行いながら毎月の読み聞かせなど行事を再開でき、ボランティアもいきいきと活動してくれたことで、地域の人材や組織との連携が図れた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番12 待機児童解消のための認可保育所の増設では、市内の待機児童の分布状況等を踏まえて認可保育所の整備を行い、123人の定員拡充を行った。通番13 基幹型保育所システム事業では、従来の対面形式に加え、オンライン形式での研修や専門職連絡会を開催し、保育現場のニーズに対応したテーマで学習の場を設定できたことで、状況に応じた事業の実施環境を構築できた。通番14 障害児保育事業では、障害がある子ども一人ひとりの特性に応じた保育が実施されるよう、職員加配に対する補助を実施した。通番15 学童保育所整備事業では、市内の公立学童保育所の狭隘状況等を分析し、市内において優先的に整備すべき地域を明らかにした上で公募を実施し、民設民営学童保育所を整備したことで、30人の定員拡充を図った。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番12 待機児童解消のための認可保育所の増設では、待機児童の解消に向け、地域別の待機児童の状況等を把握し、公募による事業者選定の際に保育ニーズが高い地域を明示することで、地域的偏在の解消に努めながら保育所の整備を行った。また、保育施設が全ての子どもがともに成長していく場となるよう、通番13 基幹型保育所システム事業では、保育施設職員の知識向上のための研修の実施や、発達が気になる子・配慮が必要な子に対する保育士の対応力向上のため、心理相談による巡回相談事業・指定相談事業を実施し、多様な保育ニーズに応じた教育・保育環境を整備するとともに、通番14 障害児保育事業において、一人ひとりの特性に応じた保育が実施できるよう、職員加配に対する補助を実施した。

通番15 学童保育所整備事業では、子どもが安全・安心に過ごせるように、公設の学童保育所は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、小学校の三季休業中に、教育委員会や学校の協力を得て、学校の教室、図書室、体育館及び校庭等の学校施設を借用し、分散保育を行うとともに、学童保育所の放課後児童支援員が放課後子どもプランの協力員と適時情報交換を行いながら、利用する児童が放課後子どもプランに円滑に参加できるよう連携を図った。また、民設の学童保育所では、公立学童保育所の狭隘状況を解消するため、30人の定員拡充を図ったことに加えて、高学年の受入れニーズ等を把握するため、試行実施として、2施設の民設民営学童保育所を対象に小学4年生の受入れを行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

令和3年度も保育施設・学童保育所ともに、量の見込みと確保方策について分析を行い、今後の見通しが現計画と乖離がみられる場合には、対応を図るための見直しを行っていく必要がある。合わせて、質の維持・向上や多様なニーズへの対応についても図っていく。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 学童保育所については、主に低学年児童の受入れを前提として公設学童保育所の狭隘状況を解消するため施設整備を行ってきた。いまだ狭隘状況が解消されたわけではないが、定員に空きのある民設学童保育所において試行実施として4年生の受入れを実施したことは評価できる。引き続き、施設の状況を見ながら、高学年の受入れについて検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
12	待機児童解消のための認可保育所の増設		子ども若者計画課
事業内容			
子ども・子育て支援事業計画に基づき待機児童を解消する。			
令和6年度目標			
量的	適正に認可保育所が整備され、待機児童が0人になっている。		
質的	待機児童の地域的偏在がなく、状況に応じて認可保育所が整備されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	適正に認可保育所が整備され、待機児童が0人になっている。		
質的	待機児童の地域的偏在がなく、状況に応じて認可保育所が整備されている。		
令和3年度実績			
量的	認可保育所を新たに2施設（定員123人）整備し、令和4年4月1日付けの待機児童は、25人だった。		
質的	待機児童の分布状況や今後の地域的ニーズの見通し等の状況を詳細に分析することで、地域的偏在を減らし、状況に応じた認可保育所を整備した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 c	評価理由等	計画に基づき整備したものの、目標である待機児童数が0人を達成することができなかったため。
質的	評価 b	評価理由等	待機児童の分布を地域別等で把握した上で、整備を進めたことで、地域的偏在を減らし、状況に応じた認可保育所の整備ができたため。
結果	評価 B	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
13	基幹型保育所システム事業		保育幼稚園課
事業内容			
市内を3つのエリアに分け、各エリア内に基幹型保育所を設定する。基幹型保育所同士での連携や、基幹型保育所から保育施設に対して情報の共有・助言指導・各種研修等を行うことにより、もって保育の質の維持・向上を図る。			
令和6年度目標			
量的 質的	保育所保育指針に適應した各種研修等、保育の質の維持・向上を図るため、各種事業を実施する。		
	保育の質の維持・向上が図られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的 質的	研修や専門職連絡会等、情報共有のできる環境の提供を行い、保育士等の質の維持・向上を図る。市内保育施設からの意見を反映し、より多様なテーマ設定での実施を行う。		
	保育ニーズに応えるため、また、保育士等のスキルアップとなる研修テーマ設定、情報提供や他市状況等、より現場主体の事業実施をめざし、保育士等の質の維持・向上を図る。		
令和3年度実績			
量的 質的	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修：2分野　・スポット研修：3回 ・保育士連絡会：5歳児クラス対象3回　2歳児クラス対象2回 ・看護職連絡会：3回　栄養士連絡会：3回 ・心理相談員による巡回相談事業　巡回相談事業：46回　指定相談事業：34回 		
	コロナ禍ではあったものの、感染状況等により対面による集合型とオンラインによる開催のいずれかの方法を用いて、研修や連絡会を実施。深い学びや情報共有を図ることができた。多くの方が参加しやすい研修設定を行うことで、学びの場を提供できるという大きなメリットを得ることができた。内容は医療的ケア児についての基本的知識の習得やハッピーな職場環境づくりをめざすコミュニケーションの取り方等のテーマで設定し、保育現場に求められるニーズに対応できる学びの場の提供を行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の状況を見極め感染予防に努めながら可能な限り対面による集合研修や学校訪問等実施することができた。感染が拡大していた時期は、中止するのではなく、研修では、オンライン形式を採用し、学校訪問では、小学校の協力による動画鑑賞形式を採用したことで、概ね予定していた事業を実施できた。
	b		コロナ禍において、全てが従来通りの実施とはいかなかったが、量的実績にあるとおり、事業が実施できたことは、保育士同士の交流や情報交換する貴重な場の確保につながった。基幹型保育所システム事業には、当該事業の充実を図るための事業と、既に軌道に乗り保育現場でも有効活用されている事業とが混在する状況であったことから全体的な見直しを行い、更に「求められる保育」に有効な事業内容として再編成することができた。また、事務局を現場に設置したことで、より保育ニーズや保育士等の声を反映しやすい体制を構築することができた。
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
14	障害児保育事業		保育幼稚園課
事業内容			
<p>保育所において、保育に欠け、かつ、心身に障害がある児童を当該障害児のよりよい心身発達と豊かな人間性の育成に資するため、適切な環境のもとで保育が実施できるよう支援する事業である。多様な保育ニーズに対応するため、心身に障害がある児童を受け入れるに当たり、手厚い保育ができるよう、保育士等の加配などに対して補助を行う。</p>			
令和6年度目標			
量的	補助金交付：58件		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	補助金交付：48件		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和3年度実績			
量的	補助金交付：53件		
	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、適切な環境・体制で保育を実施できた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	障害児の入所希望のあった全園で受入れを行ったことにより、目標を上回る施設に補助金の交付を行ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、障害児の安全と安心が図られ、個別対応した保育が実施できた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
15	学童保育所整備事業		子ども若者計画課 子ども子育て支援課
事業内容			
<p>【公設】学童保育所が狭隘状況にある第二小学校及び第五小学校区について、子ども・子育て支援事業計画及び新・放課後子ども総合プランに基づき、学校敷地内に「一体型」※の公設学童保育所を新たに整備し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）と連携して実施する。令和元年度に設計を実施し、令和2年度に整備工事を行い、令和3年4月1日に開設する。</p> <p>※「一体型」とは、学童保育所と放課後子どもプランを統合（一の事業として行う。）することではなく、現在行われているように、同一の小学校等において両事業が実施され、プログラム等の共有を通じ、学童保育所の児童が放課後子どもプランに参加可能とされているものをいう。</p> <p>【民設】学童保育所の狭隘状況の解消のため、子ども・子育て支援事業計画に基づき民設民営学童保育所を整備する。</p>			
令和6年度目標			
量的	【公設】2箇所（4施設）整備 【民設】子ども・子育て支援事業計画に基づき各年度に整備する。 [一体型の事業量] 8校区（15施設）		
	【公設】学校敷地内に学童保育所を新設し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）を一体的に実施することで、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
質的	【公設】学童保育所と放課後子どもプランとの連携を一層強化していきながら、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
	【公設】児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるための必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所の設置ができるよう、教育委員会と協議・調整を行った。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	【公設】令和6年度目標達成済みにつき目標設定なし 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画（第5章子ども・子育て支援事業計画）に基づき、施設整備を行う。（定員40人×2施設）		
	【公設】学童保育所と放課後子どもプランとの連携を一層強化していきながら、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
質的	【公設】児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるための必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所の設置ができるよう、教育委員会と協議・調整を行った。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
	【公設】児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるための必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所の設置ができるよう、教育委員会と協議・調整を行った。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
令和3年度実績			
量的	【民設】1施設の民設民営学童保育所を整備し、30人の定員拡充を図った。 学童保育じゃんぐ 本町クラブ（定員30人）		
	【公設】児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるための必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所の設置ができるよう、教育委員会と協議・調整を行った。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
質的	【公設】児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるための必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所の設置ができるよう、教育委員会と協議・調整を行った。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
	【公設】児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるための必要な広さの専用区画や設備等を備えた学童保育所の設置ができるよう、教育委員会と協議・調整を行った。 【民設】民設民営学童保育所を整備したことで、公設の学童保育所の狭隘状況が改善するとともに、令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たり、どのような学童保育所を求めているか明確に示し、事業者を選定することで、民設民営学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を確保することができた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	C	【民設】80人の定員拡充予定が30人に留まったため。当初の公募だけでは必要な整備量を確保できなかったことから、追加公募を実施したものの、目標達成には至らなかった。
	評価理由等		
質的	評価	a	【公設】新たに開設した第二・第三日吉町学童保育所及び第三・第四光町学童保育所について、運営を担う指定管理者と協議調整し、児童が安全・安心に過ごせるよう必要な職員を配置し、学校とも定期的に情報交換等を行いながら、児童の育成支援を実施した。また、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながらとなったが、必要な感染拡大防止対策を講じたうえで、放課後子どもプランとも連携を図りつつ、それぞれの学童保育所において、工作やスポーツ等の遊びや季節ごとの行事など、多様な体験・活動を提供することができたため。 【民設】令和3年度の学童保育所設置事業者を募集するに当たっては、公設学童保育所の狭隘状況や今後の見通し等詳細に分析し、募集対象地域を示した上で募集を実施した。また、施設要件等を明確することで安全基準を高め、「登録児童の外遊び・多様な体験ができる環境について」等についても、申込みの際の協議事項とし、運営の質が確保できるよう工夫を図ったため。
	評価理由等		
結果	評価	B	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様
	評価指標		

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

通番16 男性が家事・育児に参画するための環境づくりでは、毎年又は隔年で1回の講座実施としていたことから、令和3年度は、講座は開催していないが、男性に対する仕事と家庭との調和の意識づくりとして、国際男性デー(11月19日)にあわせ、男性ジェンダーをテーマとする書籍を複数冊貸出したほか、市のホームページ及びツイッターで男性の家事・育児参画に関する情報や書籍に関する情報発信を行った。通番17 特定事業主行動計画の推進及び啓発では、職員への制度の理解を深めるため、休暇制度の案内の掲示(庁内電子掲示板)や研修での周知、対象者に対する直接制度活用の勧奨を行った。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番16 男性が家事・育児に参画するための環境づくりでは、男性が家事・育児を担うことへのきっかけづくりとして、国際男性デーに合わせ男性ジェンダーをテーマとする書籍を複数冊貸し出したほか、ツイッターで書籍紹介を行った。通番17 特定事業主行動計画の推進及び啓発では、職員に対して、庁内電子掲示板への休暇制度に関する案内文書の掲載や、新任職員研修を通じて、休暇制度の周知及び取得の勧奨を行った。加えて、子が生まれた男性職員に対して、育児休業等取得に関する案内文書の配付及び説明を行い、育児休業等取得の勧奨を行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

方向性に基つき各事業は実施されており、事業の実施結果も量的・質的ともに目標値を「おおむね達成している」以上の水準となっている。通番16では重点事業評価シート中の「令和3年度実績に係る評価及び課題」に記載のとおり、講座の実施頻度や形態について検討する必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番16 男性が家事・育児に参画するための環境づくりの実施頻度が毎年又は隔年1回の講座実施となっており、施策を進める重点事業としては頻度が少ないと思われる。今後の事業のあり方について検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
16	男性が家事・育児に参画するための環境づくり	人権平和課
事業内容		
男性が積極的に家事・子育て・介護に携わることができるよう、講座の開催などをし、様々なスキルや支援の情報提供を行う。		
令和6年度目標		
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施	
質的	男性に対し、仕事と家庭との調和の意識づくりへの情報提供がなされ、定期的に講座が開催されている。	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施	
質的	男性に対し、仕事と家庭との調和の意識づくりへの情報提供がなされ、定期的に講座が開催されている。	
令和3年度実績		
量的	令和3年度は講座の開催を行わなかったが、内閣府や東京都の情報提供を行った。	
質的	男性の家事・育児参画に関する情報を、国際男性デー（11月）にあわせてホームページ及びツイッターで発信し、周知を図った。	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 C	評価理由等 毎年又は隔年の講座開催としていたことから、令和3年度は講座は開催していない。男性の家事、子育て等に関わる情報提供を行ったが、評価にあたって講座の隔年実施では適切な判断が難しいため、毎年の実施あるいは講座に準ずる機会を設ける必要がある。
質的	評価 b	評価理由等 男性の家事・育児参画に関する情報の発信を行った。特にツイッターでの書籍紹介では、出版社にリツイートいただくなど、市内外により効果的な周知ができた。
結果	評価 B	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
		※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
17	特定事業主行動計画の推進及び啓発		職員課
事業内容			
特定事業主行動計画の啓発を行い、働きやすい職場環境の整備を進める事業			
令和6年度目標			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産介護休暇取得率100% ・ 育児参加休暇取得率100% ・ 男性育児休業取得率50% 		
質的	職員向けに休暇制度の周知を年2回程度行い、職員及び所属長の制度への理解を深め、職場環境の改善を進める。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	出産介護休暇については、特定事業主行動計画で取得率100%の目標を掲げている。育児参加休暇についても、対象者すべてが取得することが望ましい。男性の育児休業は、令和6年度目標取得率である50%に向け、毎年度10%ずつ段階的に目標を引き上げることとしており、令和3年度は取得率20%を目標とする。		
質的	職員が制度について十分に理解するなど日常の環境が整備され、働きやすい職場になっている。		
令和3年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産介護休暇取得率66.7% ・ 育児参加休暇取得率83.3% ・ 男性育児休業取得率100.0% 		
質的	全職員に対し休暇制度について庁内イントラネット掲示板で案内し、新入職員に対し新任研修の中で休暇制度を周知し、子が生まれた男性職員に直接育児休業取得の勧奨を行ったことなどにより、男性育児休業取得率が向上する等の職場環境整備が進んだ。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	出産介護休暇について、目標の3分の2にとどまった。 育児参加休暇取得率について、目標の8割を超えおおむね達成できた。 男性育児休業取得率について、目標を200%達成した。
	b		
質的	評価	評価理由等	休暇制度の案内を庁内イントラネット掲示板及び新任研修にて周知を図ったことと、子が生まれた男性職員に直接育児休業取得の勧奨を行ったことにより、男性の育児休業取得率について目標の数値を達成することができ、職員及び所属長への制度の理解を深めることができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様
	B		

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

イベントや行事等を行う事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年度に引き続き、活動できない期間があったもの（通番27 放課後子どもプラン）、大規模な行事を実施できなかったもの（通番21 児童館における行事の充実）、施設の休館や開館時間の短縮・利用人数制限から事業や施設の利用人数が減少する事業（通番22 スポーツセンター、プールの個人開放）が見受けられた。一方、各事業とも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、実施方法や内容を工夫し、目標達成のための取組を行った。加えて、通番22ではインターネットでの混雑状況の発信、通番23 国分寺市プレイステーション事業では、新たに子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業の展開、通番27では新たに1校で専用の教室を開設するなど、事業の拡充を図った。また、子どもが安全・安心して利用できる公園となるよう、通番25 公園・緑地の整備では、1公園において拡大整備及び防災機能拡充のための設備の整備を行い、通番26 遊具の更新では、老朽化し、劣化した遊具の更新を行った。市内における子どもの居場所づくりの推進では、市ホームページやツイッターでの情報発信、子どもの居場所施設に関する動画を制作し、また、子どもの居場所づくり関係者懇談会の参加者も増となり、子どもの居場所についての周知を進めることができた。

2 施策の方向性に係る実施状況

1に記載のとおり、通番19 子ども対象事業から通番24 こくぶんじ青空ひろばまで及び通番27 放課後子どもプランにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために制約を受けたものもあったが、各事業とも工夫（例えば、通番23 国分寺市プレイステーション事業ではタぐれカフェの実施など子ども自らが居心地の良い場所をつくるという視点で事業が展開され、通番24では外国にルーツを持つ子どもの利用に対し、翻訳機等を活用するなどした。）を凝らしつつ、方向性に基づき多様な事業を実施し、子どもが居場所と思える環境の整備を推進した。また、通番25 公園・緑地の整備では、幼児用エリアや三連鉄棒など、幅広い年代の子どもが遊ぶことができるよう整備を行い、通番26 遊具の更新では、老朽化し、劣化した遊具の更新を行うことで、ハード面での環境整備を進めた。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

今後、通番19 子ども対象事業の量的実績評価理由に記載のとおり、さらに多くの方が安心して参加できるよう新しい生活様式を取り入れた企画を実施することを検討するとともに、実施ができていない事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、新たな実施形態について検討する必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番18 地域の子どもの居場所づくりの推進については、市民への認知度が必ずしも高くないと思われる。認知度が上がる取組について積極的に実施されたい。
- 通番23 国分寺市プレイステーション事業は、中学生や高校生の居場所提供に寄与する事業である。当該事業において実施しているイベント等がより認知されるよう努められたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
18	地域の子どもの居場所づくりの推進		子ども若者計画課
事業内容			
地域資源を活用して子どもの居場所づくりを行う。			
令和6年度目標			
量的	市が周知する居場所に関する情報について、全ての市民が把握している。		
	質的		
質的	子どもが自分らしくいきいきとして過ごせる居場所を確保している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図る。		
	子どもの居場所に関する周知のため、市ホームページやツイッターでの発信、子どもの居場所施設に関する動画を制作する。		
質的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、意見聴取を重ねることで、子どもの居場所づくりの推進について、コロナ禍における、より適切な事業運営の体制に向けた準備が整っている。動画配信をはじめとする情報発信の工夫を通じて、コロナ禍における子どもの居場所についての周知が図られている。		
令和3年度実績			
量的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を3回（7月、11月、3月）実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を行った。		
	子どもの居場所に関する周知のため、市ホームページやツイッターでの発信、子どもの居場所施設に関する動画（本多児童館）を制作した。		
質的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、意見聴取を重ね、検討した結果、子どもの居場所づくり関係者懇談会は引き続き市が主宰し、子どもの居場所づくりの推進に取り組むこととした。市ホームページやツイッターでの発信を通じ、子どもの居場所について周知がされた。また、子どもの居場所づくり関係者懇談会の参加者も増え、子どもの居場所についての周知が進んだ。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、情報根幹・共有を行った。子どもの居場所に関する周知については、子どもの居場所施設に関する動画（本多児童館）を制作したが、令和3年度中の公開ができなかったため、「おおむね達成した」との評価とした。
	b		
質的	評価	評価理由等	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、情報根幹・共有を行い、検討を重ね、子どもの居場所づくりの推進に係る事業体制について、準備を整えた。また、市ホームページやツイッターでの発信を通じ、子どもの居場所について周知がされた。また、子どもの居場所づくり関係者懇談会の参加者も増え、子どもの居場所についての周知が進んだ。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
19	子ども対象事業		公民館課
事業内容			
子どもたちが自ら公民館に興味を持ち、集うように、芸術、文化、科学、スポーツなどあらゆる分野の学びの機会を提供する。			
令和6年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で25事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で10事業以上の子ども対象事業を実施		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和3年度実績			
量的	企画事業数：23 実施事業数：23		
質的	平均満足度：93.51%		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 b	評価理由等	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらの事業実施となったが、定員や講座の進行等工夫をすることで、可能な限り事業実施に努めた。今後は新しい日常生活を取り入れ、更に多くの参加者が安心して参加できるような企画を実施することを検討する必要がある。
質的	評価 a	評価理由等	実施した事業については、それぞれ参加者から概ね高い満足度が得られた。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
	※ a, b 及び c の評価指標についても同様		

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
20	子ども活躍の場の創出		図書館課
事業内容			
図書館が子どもたちの居場所となるよう、子ども本人が参加することのできる事業を実施する。			
令和6年度目標			
量的	市内2か所の図書館での実施		
	図書館が子どもたちの自主活動拠点の居場所となり、子どもたちが事業を企画・運営し、発表している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	並木図書館及び、本多図書館で実施		
	並木図書館は、1日図書館員を行い子どもたちとの交流を図る。また国分寺市立第五中学校を含む近隣の小中学校と協力して生徒のおすすめ本のポップ作成、本の展示等を行う。本多図書館は、親子体験事業を行い子どもたちとの交流を図る。これらの取組を通じて、子どもたちと図書館の交流を行っていき、図書館が子どもたちの居場所となるように事業が実施されている。		
令和3年度実績			
量的	並木図書館及び、本多図書館で実施		
	並木図書館では、春休みに小学生以上を対象に一日図書館員を実施し、6人の参加があった。並木図書館地区六小、十小、五中の図書委員および有志からおすすめ本を木の葉のカードに記入してもらい図書館の柱を幹に見立てて展示した。本多図書館は「図書館でクワガタを調べて・学んで・育ててみよう」を開催した。図書館資料を使用して生体や飼育方法を調べ、家庭で親子が協力して飼育及び観察日記をつけ、報告会をした。7組の参加があった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標達成に向け、並木図書館及び本多図書館で実施する目標を達成できたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で実施。「一日図書館員」ではカウンターだけでなく、日常では見ることのできない業務の体験を行い、子どもと交流を行った。「図書館でクワガタを調べて・学んで・育ててみよう」は、親子でクワガタを飼育し、観察日記の発表等、図書館の資料活用だけでなく、発表を行うことで親子で図書館で活動した。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
21	児童館における行事の充実		子ども子育て支援課
事業内容			
児童館において、事業の充実や施設のPRに努め、子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所として、乳幼児期、児童期及び思春期の発達段階に応じた子どもたちの健全な遊びや日常の生活を支援するとともに、各年齢や発達段階等に応じた様々な行事等を実施し、子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	全児童館延べ来館者数：173,880人 全児童館行事実施回数：1,100回		
	各児童館において、事業の充実や施設のPRがなされ、各年齢や発達段階等に応じた様々な企画が実施されている。		
質的	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、各年齢や発達段階に応じた読み聞かせや工作など様々な企画が実施されており、毎月のおたよりやホームページなどでの周知がなされている。		
	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、読み聞かせや工作など各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。 また、毎月のおたよりのチラシ配布やホームページでの周知を行った。		
令和3年度実績			
量的	全児童館延べ来館者数：98,287人 全児童館行事実施回数：579回		
	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、読み聞かせや工作など各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。 また、毎月のおたよりのチラシ配布やホームページでの周知を行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	感染症対策を行いながらも、ボランティアによる読み聞かせや工作、人形劇や収穫体験などの行事を実施し、令和3年度目標を達成することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	感染症対策のため、おまつりや観劇会など大規模な行事の実施はできなかったが、月ごとの読み聞かせ（乳幼児向け・小学生向け）や工作などは再開することができ、各年齢や発達段階に応じた様々な行事を実施することができた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
22	スポーツセンター，プールの個人開放		スポーツ振興課
事業内容			
スポーツセンター，プール等を個人に開放し，多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供する事業。これにより，生涯スポーツ社会の実現を目指す。			
令和6年度目標			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：16,800人		
	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
質的	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：11,000人		
	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
質的	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
令和3年度実績			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：10,288人		
	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
質的	バスケットボールやバドミントン，親子プレイルームなど子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実していた。インターネット上で混雑状況が把握できるよう，指定管理者が開設しているホームページに「混雑ランプ」を表示させ，状況を発信した。8月から1時間利用の運用と併せ，待機場所の混雑軽減に効果をあげた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，施設の休館や時間短縮，利用人数制限により，利用機会が減ってしまった。そのため利用人数が少なかった。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，利用機会の減少や利用人数制限などを行ったが，各施設で様々な種類の個人開放を実施した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
23	国分寺市プレイステーション事業	子ども子育て支援課
事業内容		
乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場・居場所として、国分寺市プレイステーションを運営する。		
令和6年度目標		
量的	年間来場者数：15,000人	
	乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できている。	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	年間来場者数：12,000人	
	乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できている。	
令和3年度実績		
量的	年間来場者数：22,287人	
	施設の移転後2年目を迎え、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、段階的に施設の利用制限を解除していった。あわせて、冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業を展開し、当該施設の機能強化を図った。	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	評価理由等
	a	
質的	評価	評価理由等
	a	
結果	評価	評価指標
	A	
	A	
	A	

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
24	こくぶんじ青空ひろば	子ども子育て支援課	
事業内容			
市内の公園を活用し、児童へ安心して過ごすことのできる遊びの場を提供する。			
令和6年度目標			
量的	6公園		
質的	児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場が提供できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	6公園		
質的	新規実施公園1箇所においても、児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場が提供できている。		
令和3年度実績			
量的	6公園		
質的	新規実施公園1箇所を含めた6公園において、児童の放課後の居場所として公園を活用した遊びの場が提供出来ていた。コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者も少しずつ戻ってきており、登録者も増えてきている。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	a	評価理由等 青空ひろば事業の6公園において、活動の場所を継続して活動した。
	評価		
質的	評価	a	評価理由等 利用者の年齢やニーズに合わせて、木工作や火起こし等の非日常的な活動を実施し、青空ひろばならではの経験を提供している。また、活動していることを楽しみにしている利用者もいるので、天候等に注意しながら開催するようにしている。
	評価		
結果	評価	A	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様
	評価		
	評価		
	評価		

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
25	公園・緑地の整備		緑と建築課
事業内容			
公園・緑地の整備を行い、子どもを含む利用者が遊べる場を拡充する事業			
令和6年度目標			
量的	都市公園1か所の開園		
質的	市民が憩える場を整備し、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所が増えている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	「内藤さつき公園」の拡大エリアの整備を行う。		
質的	子どもたちが安心・安全に過ごせる場所となるように「内藤さつき公園」の拡大工事を行う。		
令和3年度実績			
量的	「内藤さつき公園」の拡大整備を行い、令和3年3月24日に開園した。		
質的	市民目線の憩える場、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所となるように、開園済み部分との一体性に配慮しながら防災機能を拡充していく方針のもと、拡大エリアにおいては、マンホールトイレ、ソーラー照明灯、防災倉庫、トイレ、幼児用エリア、三連鉄棒の整備を行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	「内藤さつき公園」の拡大整備を行い、開園した。
	a		
質的	評価	評価理由等	整備方針及び市民の意見、両方の内容を反映し、整備を行った。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
26	遊具の更新		緑と建築課
事業内容			
「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、遊具の更新をする事業			
令和6年度目標			
量的 質的	令和2年度から延べ183公園の遊具を更新する。		
	老朽化した遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的 質的	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、27公園の遊具更新を実施する。		
	老朽化し、劣化が進行している遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できている。		
令和3年度実績			
量的 質的	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、14公園の遊具更新を実施した。		
	老朽化し、劣化が進行している遊具を更新することで子どもたちが安全・安心に利用できている。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	目標数を下回ったため。なお、毎年実施の遊具点検に基づき、令和3年度の目標更新公園数27公園について点検を行い、うち13公園は点検結果がAまたはB（全体的に健全）であり、C判定（全体的に劣化が進行している）以下となった14公園の更新を実施した。
	C		
質的	評価	評価理由等	遊具点検結果に基づく遊具更新により、危険な遊具がない状態にできているため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
27	放課後子どもプラン	社会教育課
事業内容		
文部科学省の「放課後子供教室」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」との連携事業。地域・学校・行政の連携による学校等を利用した安全で安心な子どもの居場所づくりを行う。		
令和6年度目標		
量的	市内全市立小学校10校で計1,700日以上実施	
質的	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供している。	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	市内全市立小学校10校で計1,550日実施。	
質的	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供している。	
令和3年度実績		
量的	市内全市立小学校10校で計959日実施。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、一部実施できない期間があった。	
質的	一部実施できない期間があったものの、それ以外の期間については感染症対策をしたうえで、子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供した。	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 c	評価理由等 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、一部実施を見合わせた期間があったが、手洗いや消毒の徹底等、接触感染や飛沫感染対策を行い、全校で放課後子どもプランを実施することができた。
質的	評価 b	評価理由等 感染拡大防止のため、企画内容に一定の制限はあったが、コロナ禍でもできる、子どもにとって魅力的な企画を実施し、居場所を提供することができた。
結果	評価 B	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、通番29 交通安全運動市民のつどいの開催についてはイベントが中止され、通番31 自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施については自主防犯活動が一部控えられるなど、それぞれ目標の達成が困難となった。しかし、通番29については、イベントの実施に代えて市報やホームページ等様々な媒体を活用し、当該事業の目的である交通マナー及びルールの周知を行った。通番31については、一部活動を控える自主防犯活動団体はあったものの、防犯パトロール自体は行われ、防災行政無線を活用した下校時の見守り放送の実施等、防犯活動の推進を図った。

上記事業以外の交通安全関係事業（通番28 安全設備の設置及び通番30 交通安全教室の開催）、防犯対策関係事業（通番32 事件情報等の迅速な提供）及び環境調査・対策関係事業（通番33 水質分析等調査から通番36 放射能対策）については、量的・質的目標ともに「おおむね達成した」以上の水準であった。

2 施策の方向性に係る実施状況

子どもや乳幼児等の親子連れに対する交通面での安全性確保のための交通安全設備の設置、道路交通環境の整備及び交通安全学習については、**1**に記載のとおり、通番29 交通安全運動市民のつどいの開催でイベントが中止となったことを除き、方向性に基づき各事業が実施された。

安全なまちづくりに向けた体制の確保についても、一部自主防犯活動が控えられたことを除き、方向性に基づき事業が実施された。なお、通番31 自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施では、防犯パトロールを推進するため、防犯講話や防犯まちづくり委員会でも防犯活動に関する周知を行うなど、市民に対する呼びかけの機会を拡充した。また、防犯用品の支給も実施した。

子どもを取り巻く生活環境の安全確保のために実施している各種生活環境調査については、各事業で設定した目標どおり実施されており、その結果においても安全性が確認されている。

3 施策の進捗状況

順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため実施できなかったことや活動が控えられたこともあるが、当該事業については、目的達成のための代替措置や活動推進策が取られていた。その他の事業については、方向性に基づき事業が実施されており、量的・質的目標ともに「おおむね達成した」以上の水準であった。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番30 交通安全教室の開催について、参加した生徒の交通安全に対する意識がどのように変わったのか確認する方法についても検討されたい。また、今後については、上記事業の成果を踏まえながら、中学生に限らず、幅広い世代に渡って交通安全に対する高い意識が継続的に保たれる事業の実施に努められたい。交通安全対策については、引き続き、警察とも連携しながら保護者から意見の聞き取りを行うなど、積極的な取組を進められたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
28	安全設備の設置		道路管理課
事業内容			
道路照明灯，道路区画線等の交通安全施設を整備することにより，交通危険箇所を解消し，交通事故の防止を図る。			
令和6年度目標			
量的	基準に基づき，優先順位をつけて設置		
質的	適正な場所に交通安全設備が設置され，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	基準に基づき，優先順位をつけて設置		
質的	適正な場所に交通安全設備が設置され，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られている。		
令和3年度実績			
量的	基準に基づき，優先順位をつけ，道路区画線等路面表示の修繕を行った。 道路区画線等路面表示の修繕：6,068千円 道路反射鏡等修繕：48基2,947千円 道路照明灯修繕：99件11,776千円 道路反射鏡新設工事：8基1,169千円 街灯の修繕：91件5,115千円 LED灯新設工事：262千円		
質的	適正な場所に交通安全設備を設置し，破損等に対しては速やかな修繕を行ったことで，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られたと考える。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 a	評価理由等	優先順位をつけて設置したことにより，交通危険箇所を解消し，効果的に交通事故の防止につながるよう改善できた。
質的	評価 a	評価理由等	通学路点検等で要望のあがった危険箇所に対して，区画線の設置，修繕等の対策を行った。また，街灯のLED化を含め交通安全設備全般の整備を推進したことで，より子どもたちが安全かつ過ごしやすい道路環境づくりを進めた。
結果	評価 A	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
29	交通安全運動市民のつどいの開催		交通対策課
事業内容			
交通安全運動市民のつどいを開催し、交通安全に対する周知を行う。			
令和6年度目標			
量的	交通安全運動市民のつどいを年2回開催する。		
	質的		
交通安全を周知する事業として、交通安全運動市民のつどいを開催することで、交通マナー及びルールの周知を図る。			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	交通安全運動市民のつどいを年2回開催する。		
	質的		
交通安全を周知する事業として、交通安全運動市民のつどいを開催することで、交通マナー及びルールの周知を図る。			
令和3年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全運動市民のつどいは2回とも開催中止となった。市報や市ホームページ、ツイッター、デジタルサイネージ等にて交通安全に関する周知を行った。		
	質的		
量的実績にもあるようにイベント開催の代わりに広報媒体を活用し、交通安全に関する情報を発信し、交通マナー及びルールを周知した。			
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全運動市民のつどいは2回ともやむを得ず開催中止となったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全運動市民のつどいを含む様々なイベントが開催中止となり、交通マナー及びルールの周知をする機会がなくなったが、代替策として、市報や市ホームページ等様々な広報媒体を活用し、交通マナー及びルールを周知したため。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
30	交通安全教室の開催		交通対策課
事業内容			
中学生等を対象としたスケアードストレイト方式の交通安全教室を開催する。			
令和6年度目標			
量的	交通安全教室を年に2回市立の中学校等で開催する。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高める。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	市立中学在学時に一度は交通安全教室を受講できるように、毎年2校ずつ実施していく。令和3年度は、交通安全教室を第一中学校と第五中学校にて開催する。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高める。		
令和3年度実績			
量的	交通安全教室を第一中学校と第五中学校にて各1回、合計2回開催した。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を具体的に伝えるとともに、交通安全意識を高めることができた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	交通安全教室を第一中学校と第五中学校にて開催することができたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を具体的に伝えられたことから、交通安全意識を高めることにつながったと考えているため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
31	自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施		防災安全課
事業内容			
子どもたちの安全確保など防犯対策のため、防犯リーダー養成講習会を修了し、地域の自主防犯の中心として活動する市民が属する自主防犯活動団体や地域防犯パトロール協力事業者による防犯パトロール及び登校時や子どもの見守り放送を受けての下校時の見守り活動など防犯活動の実施を推進する。			
令和6年度目標			
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：56団体 協力事業者数：23事業者		
	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。		
質的			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：50団体 協力事業者数：20事業者		
	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。		
質的			
令和3年度実績			
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：35団体 協力事業者数：16事業者		
	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で防犯活動を実施したが、自主防犯活動団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体もあった。		
質的			
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和3年度の目標を達成しなかったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	コロナ禍のため、主な自主防犯活動団体である自治会・町内会の活動が停滞し、周知や防犯用品の支給が進まなかった。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
32	事件情報等の迅速な提供		防災安全課
事業内容			
事前に登録した市民等に不審者や事件情報等を電子メールで迅速に配信する。			
令和6年度目標			
量的	登録数：21,000件		
	質的		
市民等に事件情報等を迅速に提供する。			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	登録数：19,500件		
	質的		
市民等に事件情報等を迅速に提供する。			
令和3年度実績			
量的	登録数：20,470件（前年比354件増）		
	質的		
市民等に事件情報等を迅速に提供した。			
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	防犯講座等でメール配信の登録方法を記載したチラシを配布し、周知を行った結果、新たな登録者があり、令和3年度目標を達成したため。
	a		
質的	評価	評価理由等	特段の理由がある場合を除き、迅速に配信作業を行ったため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
33	水質分析等調査		環境対策課
事業内容			
安全な河川等の水質調査として野川水質分析，湧水分析，野川水生生物，井戸水水質などの調査・分析を実施する。			
令和6年度目標			
量的	水質：年1回3地点 湧水：年7回2地点 水生生物：年1回1地点 井戸水：年1回20地点		
質的	潤いと安らぎを与える水辺環境を守り，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	野川水質分析：年7回3地点 湧水・池水水質分析：年6回4地点（姿見の池は年1回） 水生生物分析：年1回1地点 井戸水水質分析：年1回20地点		
質的	潤いと安らぎを与える水辺環境を守るため，水質の調査・分析を実施し，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることができる。		
令和3年度実績			
量的	野川水質分析：年7回3地点 湧水・池水水質分析：年6回4地点（姿見の池は年1回） 水生生物分析：年1回1地点 井戸水水質分析：年1回20地点		
質的	湧水のため欠測した部分があるが，全項目について目標どおりに調査・分析を行った。結果について，井戸水調査の2か所を除き，環境基準・参考基準を達成したことを確認した。このことから，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できたと考える。測定結果については，事務報告書で公表した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標どおりの地点・回数において調査・分析を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	子どもを取り巻く生活環境が安全に保たれるよう，水質の調査・分析を行い，安全性を把握した。公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できることが確認できた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
34	大気環境分析等調査		環境対策課
事業内容			
児童が通園・通学に利用する幹線道路沿線の大気調査，自動車排気ガス測定，自動車騒音・振動・交通量及び酸性雨等の調査を実施する。			
令和6年度目標			
量的	大気，排気ガス，騒音・振動：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	大気環境調査（自動車排気ガス），騒音・振動調査：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	大気環境や騒音等について調査を実施し，状況を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和3年度実績			
量的	大気環境調査（自動車排気ガス），騒音・振動調査：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	大気環境調査（自動車排気ガス）については，すべての地点，調査項目において，環境基準以下であることを確認した。また，騒音・振動調査については4地点で環境基準以下であり，3地点で要請限度以下であることを確認した。このことから公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができたと考える。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	a		
質的	評価	評価理由等	調査の結果，市内の大気環境，自動車の走行による騒音・振動については良好であることが確認できた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
35	ダイオキシン類調査		環境対策課
事業内容			
人体に有害な物質，ダイオキシンについて，学校，公園で隔年において大気，土壌の調査を実施する。			
令和6年度目標			
量的	調査・分析実施回数：1回		
	質的		
公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できている。			
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	土壌中のダイオキシン測定：年1回10地点（公園）		
	質的		
有害な物質であるダイオキシンの状況を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できている。			
令和3年度実績			
量的	土壌中のダイオキシン測定：年1回10地点（公園）		
	質的		
調査を行った10か所の公園全てにおいて，環境基準以下であったことを確認した。このことから，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できたと考える。			
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標のとおり実施できた。
	a		
質的	評価	評価理由等	調査・分析の結果，環境基準を満たしており，子どもたちが安全に，かつ安心して生活できることが確認できた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
36	放射能対策		環境対策課
事業内容			
空間放射線量，給食食品等の放射性物質濃度，プール水・親水施設等の水の放射線物質濃度等の測定を実施する。			
令和6年度目標			
量的 質的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づく測定の実施。		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的 質的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づく測定の実施。		
	空間放射線量や給食食品等の放射性物質濃度，プール水・浸水施設等の水の放射線物質濃度を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和3年度実績			
量的 質的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づき，空間放射線量の測定，給食食材，プール水等の放射性物質濃度測定を行った。		
	空間放射線量及び給食食材，プール水の放射性物質濃度ともに基準値以下であったことを確認した。このことから，公害等から良好な生活環境を守り，子どもの安全・安心な通園・通学できたと考える。なお，国分寺市放射能対策委員会において，測定について見直しを行い，プール水・親水施設等の測定の終了，空間放射線，給食食材について測定頻度等を変更した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づいた測定を行うことができた。
	a		
質的 結果	評価	評価理由等	空間放射線量及び給食食材，プール水の放射性物質濃度ともに基準値以下であり，子どもたちが安全に，かつ安心して生活できることが確認できた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

各事業について、おおむね実施することができている。事業ごとに見ていくと、通番37 親子ひろば事業の充実について、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらイベントを実施したことにより、休止期間はあったが、前年度に比べ利用者が増加している。通番38 乳幼児母性健康相談は、相談を予約制にすることや電話相談を可能にするなどの改善を行っている。通番39 病児・病後児保育事務事業は、新たに病児・病後児保育室を府中市と国立市と共同で開設したが、国分寺市民の利用がなく、また、手続きの簡略化ができていない。通番40 障害児保育事業は、障害児保育における職員加配に対する補助が行われたことで、適切な保育が実施されている。通番41 支援ニーズに応じたサービス提供の充実は、量的においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値を下回ったが、支援を必要としている家庭に対してサービスの提供は行なえている。通番42 公民館保育室事業は、保育・託児付きの講座を実施することで、親の学習機会の確保や、親、子どもともに地域における新たな関係の構築にも寄与している。通番43 障害児支援の提供体制の整備は、障害児支援に資する施設の確保に努める必要があるが、市民の障害への理解が進んだことや事業所の整備によりサービスの利用者は増加している。通番44 障害児相談支援は、障害児相談支援を行う事業所が新設され、また、関連施設等との情報共有による支援の質の向上が行なえている。通番45 児童発達支援センターの設置は、今後の整備について具体的な検討が進んでいない。通番46 義務教育就学児医療費助成は、制度周知により申請漏れを防ぎ、義務教育就学児家庭の経済的な負担を軽減した。

2 施策の方向性に係る実施状況

交流の場については、通番37 親子ひろばや通番38 乳幼児母性健康相談において、妊娠中の方や子育て中の方が、身近な場所で気軽に交流できるような機会や場所の提供を行った。また、通番42 公民館保育室事業においては、親子ひろばや乳幼児母性健康相談などと連携して、交流の機会や場所の提供のみならず、保護者同士や子ども同士の新しい関係づくりを行った。また、各種相談事業については、通番37 親子ひろばで、一人ひとりが状況に応じて相談でき、悩みを軽減できるよう様々な取組（助産師による巡回相談等）を実施したことや、通番38 乳幼児母性健康相談では、継続的な支援が必要な方に対し、子育て世代包括支援センター事業で情報を整理し、地区担当保健師につなぎ、必要に応じて庁内各課や関係機関とともに連携しながら支援を行った。

保育サービスについては、個々の家庭の状況に応じた多様な保育ニーズに対応するため、各事業において様々なサービスを提供した。その中でも、通番39 病児・病後児保育事務事業においては、病後児保育に従事する職員が研修に参加し、質の高い保育を実施できた。

子育ての相互援助については、通番41 支援ニーズに応じたサービスの提供の充実において、ファミリー・サポート・センター事業の周知を各事業と連携して実施したことで、利用会員が増加した。また、チラシやポスター等で援助会員増加のための講習会を周知したことにより、援助会員の登録者数も増加した。

障害のある子どもへの支援については、通番40 障害児保育事業及び通番43 障害児支援の提供体制の整備において、国分寺市障害者地域自立支援協議会や医療的ケア児支援関係者会議で、地域で生活をするためのニーズや課題について協議を行うとともに、対面での実態把握調査を開始した。また、通番44 障害児相談支援では、相談者のニーズをしっかりと把握するための個別相談を行い、必要なサービスが適切に提供されるよう情報提供やサービスの調整等、より状況に則した支援を組み立てるため、必要に応じた庁内各課との連携を図った。また、課題については、各連絡会において支援の向上について協議した。通番45 児童発達支援センターの設置では、医療、福祉、教育などの関係機関とも連携を図り、各種相談事業を実施しているが、地域の中核的な療育支援施設の整備を進める必要がある。

医療費等の経済的支援については、通番46 義務教育就学児医療費助成事業において、市報や転入者向けのチラシ配付により、手続漏れが生じないよう事業の周知を行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

本施策に掲げられている重点事業や施策の方向性の実施状況から、このとおりと判断するが、通番39 病児・病後児保育事務事業における手続の簡略化、通番41 支援ニーズに応じたサービスの提供の充実におけるファミリー・サポート・センター事業における利用会員及び援助会員の増加に向けた取組、通番45 児童発達支援センターの設置における施設整備については、令和6年度の目標達成又は方向性に基づく体制整備をすることができるよう事業実施所管課において検討等を進めていく必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番39 病児・病後児保育事務事業について、手続の簡略化は、改善に要する費用の問題等があるのは理解するが、利用者の負担軽減や利便性の向上につながることから、引き続き課題解決の検討に努められたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番45 児童発達支援センターの設置は、地域の中核的な療育支援施設を整備するため実施されている事業である。整備後は、市内各保育施設等との連携なども含め、子どもや保護者への寄り添った取組が期待されていることから、遅滞なく整備が進むよう引き続き取り組まれたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
37	親子ひろば事業の充実		子育て相談室
事業内容			
地域の中で孤立しがちな乳幼児とその保護者及び妊婦に対して、安心して立ち寄り、遊びと交流ができる場所と機会を提供するとともに、子育てについての相談を受けることや、情報の提供、助言その他の援助を行う。			
令和6年度目標			
量的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所9か所		
質的	身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所8か所		
質的	身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場となっている。		
令和3年度実績			
量的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所8か所		
質的	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、4月25日から6月12日まで事業を休止したが、再開後は、コロナ禍で出産し、地域とのつながりが少ない乳幼児と保護者の外出するきっかけづくりとして、8か所の親子ひろば事業実施場所で、専門職相談や0歳児向けイベントなどを実施した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標どおりに、実施することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら事業を継続したこと、人数や時間制限があるなかでも専門職相談や0歳児のイベント等を積極的に実施したこと等により、コロナ禍前の状況に至らないまでも前年度に比べ利用者が増加した。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
38	乳幼児母性健康相談 (保健センターミニ相談会含む)		健康推進課
事業内容			
乳幼児の発育・発達の観察，保護者の育児不安を軽減することによって，母子の健康保持・増進を図る。			
令和6年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
	新型コロナウイルス感染対策を実施し，安心して身近な場所で市民が専門職に相談する場となっている。また相談の場を利用することで，市民の育児の不安を軽減することができている。		
令和3年度実績			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施，来所者数121人（延べ） 保健センターミニ相談会：19回実施，来所者数118人（延べ） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，2回中止。		
	安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう，新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し実施した。乳幼児母性健康相談は予約制で実施したほか，来所に不安を抱える市民に対して電話での相談も可とした。利用希望者全員予約を取ることができたことから，市民が相談の場を利用でき，育児の不安を軽減することができた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	保健センターミニ相談会について，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した回があり，令和3年度目標に掲げる回数を実施できなかったため。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら中止することなく実施できた。また，乳幼児母性健康相談は市民が安心して相談にこれよう予約制にし，感染予防対策をしながら，育児不安の解消に向けた相談事業が実施できたため，目標達成とする。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
39	病児・病後児保育事務事業		保育幼稚園課
事業内容			
病後児保育事業は保育施設に入所している児童の病気の回復期に集団保育を受けることが困難な場合に児童を一時的に預かる事業である。 また病氣中に自宅保育が困難な場合に実施する事業が病児保育事業である。			
令和6年度目標			
量的	5施設(22人 内7人)		
	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	5施設(22人 内7人) 都立小児総合医療センターにおける、国分寺市・府中市・国立市に在住の子どもが利用できる病児・病後児保育施設の令和3年12月開設に向けて、東京都・小児総合医療センター・関係3市で協議・手続を進め、施設の周知・登録・利用が順調に行っている。		
	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。		
令和3年度実績			
量的	5施設(22人 内7人) ※都立小児総合医療センター病児・病後児保育室は、開設当初は定員半数で運用。 国分寺市・府中市・国立市民の広域利用施設となる小児総合医療センター病児・病後児保育室が令和3年12月に開設し、関係各所で協議・手続を進め、施設の周知・登録が順調になされたが、国分寺市民の利用に至らなかった。		
	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用は激減したが、病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより質の高い病児・病後児保育を実施することができた。病児・病後児保育保護者負担金の支払いについては、電子決済等はシステム改修費が高額であり、現状では対応が困難なため、その他手続の簡素化を含め、有効な手段の導入には至っていない。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	都立小児総合医療センター病児・病後児保育室は、当初の予定どおり、令和3年12月に開設し、施設の周知・登録が順調に行うことができたが、開設当初は、定員の半数での運用とされ、国分寺市民の利用に至らなかったため。
	b		
質的	評価	評価理由等	病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより、質の高い保育を行うことができたが、手続の簡素化については、有効な手段の導入に至らなかったため。
	c		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	C		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
40	障害児保育事業		保育幼稚園課
事業内容			
<p>保育所において、保育に欠け、かつ、心身に障害がある児童を当該障害児のよりよい心身発達と豊かな人間性の育成に資するため、適切な環境のもとで保育が実施できるよう支援する事業である。各保育所が、心身に障害がある児童を受け入れるに当たり、適切な環境・体制を整えるため、保育士等の加配などに対して補助を行う。</p>			
令和6年度目標			
量的	受入施設数：26施設		
質的	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	受入施設数：20施設		
質的	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和3年度実績			
量的	受入施設数：23施設		
質的	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、適切な環境・体制で保育を実施できた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	障害児の入所希望のあった全園で受け入れを行ったことにより、目標を上回る施設が受け入れを行ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、障害児の安全と安心が図られ、個別対応した保育が実施できた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
41	支援ニーズに応じたサービス提供の充実		子育て相談室
事業内容			
ファミリー・サポート・センター事業，育児支援ヘルパー，ひとり親家庭ホームヘルプサービス，ショートステイの4サービスについて，必要とする方の支援ニーズに応じたサービスの周知及び提供を行う。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
	必要としている市民が利用している。		
質的	必要としている市民が利用している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター事業 利用延べ件数 5,878件 ・育児支援ヘルパー 利用実世帯数 100世帯 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス 利用実世帯数 16世帯 ・ショートステイ 利用延べ日数 41日 		
	必要としている市民が利用している。		
質的	必要としている市民が利用している。		
令和3年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター事業 利用件数 3,929件 ・育児支援ヘルパー 利用実世帯数 82世帯 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス 利用実世帯数 16世帯 ・ショートステイ 利用延べ日数 39日 		
	他の事業と連携しながら，サービスを必要とする家庭に対して，子どもと保護者の安心・安全な生活が送れるようサービスを提供することができた。		
質的	他の事業と連携しながら，サービスを必要とする家庭に対して，子どもと保護者の安心・安全な生活が送れるようサービスを提供することができた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の影響もあり，目標値を下回っている事業が多い。
	c		
質的	評価	評価理由等	必要としている家庭に対して，必要なサービスを利用していただくことができた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
42	公民館保育室事業	公民館課
事業内容		
就学前の子どもがいる親の学習活動を支援するため、保育・託児付の事業を実施する。また、公民館で活動するグループの学習活動を支援するため、グループ活動に合わせた保育を実施する。		
令和6年度目標		
量的	実施事業数：20事業	
質的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	実施事業数：10事業	
質的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 	
令和3年度実績		
量的	実施事業数：19	
質的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	評価理由等
	a	
質的	評価	評価理由等
	a	
結果	評価	評価指標
	A	
	A	
	A	
年度当初に計画した、事業についてはほぼ実施することが出来た。しかし新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で定員等新たに基準を作る必要が出たため、参加者数については今までより減少となった事業もある。		
託児付きの講座を実施することによって、親が落ち着いて学ぶ機会を提供することができた。また、親同士、子ども同士の新しい関係づくりにもつながり、利用者から概ね高い評価を得ることが出来たため。		
A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。		
※ a, b 及び c の評価指標についても同様		

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
43	障害児支援の提供体制の整備		障害福祉課
事業内容			
地域支援体制を構築するとともに、児童のライフステージに応じた切れ目のない支援と、保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等と連携した支援を提供する体制を整備する。			
令和6年度目標			
量的	児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの各年度末月における月間の利用見込数 ※障害児福祉計画による		
	主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保とともに、医療的ケア児支援の協議の場が設置されている。		
質的	主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保とともに、医療的ケア児支援の協議の場が設置されている。		
	主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保とともに、医療的ケア児支援の協議の場が設置されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの令和3年度末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による 児童発達支援：111人 放課後等デイサービス：215人		
	国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、地域生活を送るためのニーズや課題が抽出されている。また、主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保に向けて引き続き事業者へ周知を行う。		
質的	国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、地域生活を送るためのニーズや課題が抽出されている。また、主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保に向けて引き続き事業者へ周知を行う。		
	国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、地域生活を送るためのニーズや課題が抽出されている。また、主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保に向けて引き続き事業者へ周知を行う。		
令和3年度実績			
量的	事業所の整備及び市民の障害への理解が進んだこと等によりサービスの利用者が大幅に増加した。 児童発達支援：152人 放課後等デイサービス：259人		
	国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、対象者への対面での実態把握調査を開始し、地域生活を送るためのニーズや課題について聞き取りを行った。重症心身障害児を支援する事業所の確保のための周知を障害児通所支援事業所連絡会や事業所を新規開設する事業者に対して継続して実施した。		
質的	国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、対象者への対面での実態把握調査を開始し、地域生活を送るためのニーズや課題について聞き取りを行った。重症心身障害児を支援する事業所の確保のための周知を障害児通所支援事業所連絡会や事業所を新規開設する事業者に対して継続して実施した。		
	国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、対象者への対面での実態把握調査を開始し、地域生活を送るためのニーズや課題について聞き取りを行った。重症心身障害児を支援する事業所の確保のための周知を障害児通所支援事業所連絡会や事業所を新規開設する事業者に対して継続して実施した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	事業所の整備及び市民の障害への理解が進んだこと等によりサービスの利用者が大幅に増加し、令和3年度の目標を達成した。今後の利用者の増加に備えて、児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所の確保に引き続き取り組んでいく。
	a		
質的	評価	評価理由等	医療的ケア児については、ニーズや課題の把握のための対面調査を開始したが、調査結果の分析・ニーズ及び課題の抽出には至っていない。重症心身障害児の事業所確保については、重症心身障害児を対象とする児童発達支援の事業所の設置等、ニーズは依然として存在するため、引き続き確保に努める必要がある。
	c		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
44	障害児相談支援		障害福祉課
事業内容			
障害児通所支援等を利用する方の心身の状況や環境等を勘案し、利用するサービスの内容等を定めた障害児支援利用計画を作成する。			
令和6年度目標			
量的 質的	各年度の末月における月間の利用見込数 ※障害児福祉計画による。		
	障害児通所支援等のサービスが適切に提供されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的 質的	令和3年度の末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による。 障害児相談支援：53人		
	個別のニーズをふまえた適切な達成目標が示されている。また、その目標を達成するために組み立てられた具体的な支援計画のもとにサービスが提供されている。		
令和3年度実績			
量的 質的	児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者が大幅に増加したことに伴い、障害児相談支援の利用者が大幅に増えた。また、障害児相談支援を行う事業所が1箇所新規開設された。 障害児相談支援：77人		
	相談支援事業所連絡会（年12回）及び障害児通所支援事業所連絡会（年2回）を開催し、事業所、障害者基幹相談支援センター及び障害福祉課で課題を共有するとともに、意見交換を行ったことで、より適切な支援計画を基にサービスが提供され、支援の質の向上に繋がった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者が大幅に増加したことに伴い、障害児相談支援の利用者が大幅に増加し、令和3年度の目標を達成した。今後の利用者の増加に備えて、障害児相談支援事業所の確保に引き続き取り組んでいく。
	a		
質的	評価	評価理由等	関係機関が連携して課題解決を図る体制整備が進んでいる。個別のニーズをふまえた質の高い相談支援を行っていくため、障害児相談支援事業所の開設を進め、相談支援専門員の負担軽減を図る必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
※ a, b及びcの評価指標についても同様			

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
45	児童発達支援センターの設置	子育て相談室	
事業内容			
未就学児童の児童発達支援，18歳未満の障害のある児童や発達が遅れている児童とその家族を対象とした相談及び支援を行う。また，保育所等訪問支援を実施し専門的支援も行う地域の中核的な療育支援施設として整備する。			
令和6年度目標			
量的	1か所		
質的	地域の中核的な療育支援施設として整備されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	関係部署を含めた事業内容の検討会の実施 全2回程度		
質的	児童発達支援センターとしての事業内容及び機能について検討し，その結果が取りまとめられている。		
令和3年度実績			
量的	関係部署を含めた事業内容検討会の実施 未実施		
質的	所管課内で，児童発達支援センターの運営の方向性，事業内容及び機能について検討した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	こどもの発達センターつくしんぼの現施設用地について，急遽地権者との間に，施設用地の継続利用に関する交渉が生じた。児童発達支援センター設置の検討には交渉結果を考慮する必要があるが，交渉に時間を要したことで検討に留まってしまい，関係部署を含めた会議の開催に至らなかった。
	C		
質的	評価	評価理由等	児童発達支援センターの設置，事業内容及び機能について，所管課内で検討したが，関係部署を含めた検討に至らなかった。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
46	義務教育就学児医療費助成事業		子ども子育て支援課
事業内容			
義務教育就学期にある児童の医療費の自己負担分を助成。ただし、通院1回につき200円の一部負担金あり。児童手当に準拠した所得制限あり。国や東京都へ制度の拡充を要請する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	制度周知による申請漏れを防ぐことにより、義務教育就学児家庭の経済的な負担が軽減されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	目標は数値化しづらい。		
質的	制度周知による申請漏れを防ぐことにより、対象者は医療証の交付を受けられることとなり、結果として義務教育就学児家庭の経済的な負担が軽減されている。		
令和3年度実績			
量的	受給者数：6,860人		
質的	制度周知により申請漏れを防ぎ、対象者に医療証の交付をすることで、義務教育就学児家庭の経済的な負担を軽減した。また、児童手当に準拠した所得制限はあるが、平成29年10月より小学1年から3年生までの世帯への所得制限を撤廃しており、より多くの対象者の経済的負担軽減を行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	平成29年10月より小学1年から3年生までの世帯への所得制限を撤廃（市単独事業）した。また、より多くの対象者の経済的負担軽減を実施できたことから、量的充実を図ることができたため。
	b		
質的	評価	評価理由等	制度拡大（小学1年生から小学3年生までの世帯への所得制限撤廃）により多くの対象者の経済的負担軽減を実施できた。制度周知（市報・チラシ）により、申請漏れを防ぐことで、一定の目標達成を果たしたと考えられるため。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

各事業について、おおむね達成することができている。事業ごとに見ていくと、通番47 乳幼児母性健康相談について、母子の健康保持・増進を図る観点から、身近な場所で安心して市民が専門職に相談ができている。通番48 乳幼児健康診査について、支援の必要な方が地区担当保健師とつながるよう医療機関との積極的な連携の実施や未受診者への受診推奨等を行っている。通番49 各種栄養関連事業について、それぞれのライフステージに合わせた講座が開催されており、受講者の今後の食生活や子育てへの自信を持つきっかけにもつながっている。通番50 休日診療・休日準夜診療事業について、休日診療体制確保に加え、歯科については対応可能な医療機関を増やし、体制強化を図る取組も行われた。

2 施策の方向性に係る実施状況

健康診査や相談については、通番47 乳幼児母性健康相談において、母子にとって身近な場所で専門職に相談できる場を設けており、対面での相談でなく、電話相談も実施している。通番48 乳幼児健康診査において、乳幼児母性健康相談を実施しながら、母子保健で確認のできた保護者や対象児の状況を乳幼児健診の専門職で共有し、疾病の早期発見・早期治療と親子の健康維持等につながるよう、電話・面接・訪問など地区担当保健師による継続的な支援を開始している。通番49 各種栄養関連事業において、講座の受講者へは、必要に応じて保健師や歯科衛生士に相談をつなげており、また、専門職同士で連携しながら、健康の保持・増進を図っている。

食育については、通番47 乳幼児母性健康相談において、成長・発達段階に応じて食に関する情報や学習機会を提供している。通番49 各種栄養関連事業において、関連各課と連携した食育講座を開催している。

休日においても、必要なときに医療機関を受診できるよう、通番50 休日診療・休日準夜診療事業では、医療体制の提供を行うとともに、市報、市ホームページ及び東京都医療機関案内サービス（ひまわり）へ医療機関の情報を掲載するほか、都立小児総合医療センターや、こどもの救急サイト、＃7119救急相談センターに関する情報についても併せて掲載することにより、受診の目安や救急対応に関する情報についても活用できるようにしている。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、通番48 乳幼児健康診査において量的目標の達成は困難となった。しかし、これ以外については、量的・質的ともに目標値を「おおむね達成した」以上の水準となっており、また、全ての事業が方向性に基づき実施された。以上のことから、本施策の評価については、上記のとおりと判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番48 乳幼児健康診査（3～4箇月児健康診査・1歳6箇月児健康診査・3歳児健康診査）は、児童の疾病の早期発見・早期治療と親子の健康維持，障害の早期発見・療育につなげる取組として重要な事業である。当該事業については，児童が受診する日程（受診日や受診時間帯等）に，より多くの選択肢を用意するなど工夫することで，受診率の向上や，保護者・児童がともに落ち着いた環境の中で受診できる機会の確保等が期待できる。このことを踏まえ，さらなる健康診査受診環境の改善に努められたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
47	乳幼児母性健康相談（保健センターミニ相談会含む）		健康推進課
事業内容			
乳幼児の発育・発達の観察，保護者の育児不安を軽減することによって，母子の健康保持・増進を図る。			
令和6年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
	新型コロナウイルス感染対策を実施し，安心して身近な場所で市民が専門職に相談する場となっている。また相談の場を利用することで，市民の育児の不安を軽減することができている。		
令和3年度実績			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：19回実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，2回中止。		
	安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう，新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し実施した。乳幼児母性健康相談は予約制で実施し，利用希望者全員予約を取ることができたことから，市民が相談の場を利用でき，育児の不安を軽減することができている。また，来所に不安を抱える市民に対して電話での相談も可とした。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	保健センターミニ相談会について，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった回があり，令和3年度目標に掲げる回数を実施できなかったため。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策をしながら中止することなく実施できたこと，乳幼児母性健康相談は予約制を取ったが，利用希望者全員予約を取ることができ，市民の育児の不安を軽減する相談事業が実施できたことから目標達成とする。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
48	乳幼児健康診査 (3～4箇月児健康診査・1歳6箇月児健康診査・3歳児健康診査)		健康推進課
事業内容			
乳幼児に対する健康診査など保護者の育児支援を実施し、乳幼児及び保護者の健康保持増進・育児支援・虐待予防・発育発達上の早期発見・早期支援を図る。			
令和6年度目標			
量的	健診受診率100%		
質的	病気・障害・要支援家庭の早期発見と育児中の保護者の育児不安軽減など虐待予防の視点をもって育児支援につなげる。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	3～4箇月児健康診査受診率97.0%, 1歳6箇月児健康診査受診率96.0%, 3歳児健康診査受診率94.0% (すこやか親子21の中間評価目標値)		
質的	乳幼児健診を通じ、保護者や子どもの心身の状況を把握する。各専門職が家族全体をアセスメントし、必要時に相談者の安全確保と生活面、精神面のフォローとして必要な機関（相談・医療機関）の利用・自己決定を支援する。		
令和3年度実績			
量的	乳幼児健診の集団健診は、各健診24回実施。前年度に集団健診の受診ができず、令和3年度に受診した方が多くいたため令和3年度対象者の受診率としては目標に届かなかった。適切な時期に健診を受診できるよう、医療機関による委託健診・償還払いも平行して実施したが、1歳6箇月児健診・3歳児健診は育児支援の観点から集団健診を希望する人が多く、受診率の大きな増加にはつながらなかった。 各受診者数（集団・個別の受診者数合算）/受診率（乳幼児の数として） 3～4箇月児 942人/95%, 1歳6箇月児 898人/91%, 3歳児 739人/68%。（小数点第1位四捨五入）。		
質的	集団健診と医療機関での委託健診・償還払いを実施し、支援の必要な方が地区担当保健師とつながるよう医療機関との連携を積極的に実施。医療機関受診後、健診の結果を確認し、必要に応じて保健師が個別に電話相談を実施した。このほか、未受診者には再度電話連絡や手紙の送付、未受診アンケートで状況を把握し、連絡がつかない方・返信が無い方には保健師が訪問を実施し、受診案内・相談支援を行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年度に受診ができなかった対象者が令和3年度に受診したため、令和3年度対象者の受診率は目標に達することができなかった。3～4箇月児健診は、疾病の早期発見・早期治療につながりやすいため令和4年度より医療機関での受診に移行する。3～4箇月児健診と同時に実施していた産婦相談は産婦の健康の保持・増進に必要な事業であるため保健センターでの事業の実施を継続する。また、健康の保持・増進を図るため適切な時期に健診を受けられるよう、今後も医療機関と連携をして事業を実施していく必要がある。
	b		
質的	評価	評価理由等	支援の必要な方が地区担当保健師とつながるよう医療機関との連携を積極的にを行い、保護者や子どもの心身の状況を把握することができた。今後も乳幼児健診で保護者や子供の心身の状況を把握し、関係機関との連携を密に行いながら相談者の支援を行っていく。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
49	各種栄養関連事業（離乳食講習会・両親学級・食育講座）	健康推進課	
事業内容			
各種栄養関連事業を食育事業に位置づけ、食育の推進を図る。			
令和6年度目標			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年4回以上 食育講座：年3回以上 栄養講座：年3回以上		
質的	妊婦・乳幼児・保護者の健康の保持・増進を図る。参加者が今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけや方法を学ぶ。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年4回以上 食育講座：年3回以上 栄養講座：年3回以上		
質的	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、それぞれのライフステージに合わせた講座を開催し健康の保持・増進を図る。参加者が今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけや方法を学ぶ。		
令和3年度実績			
量的	離乳食講習会：24回 両親学級わくわくクラス：4回 食育講座：3回 栄養講座：5回		
質的	それぞれのライフステージに合わせた講座を開催し健康の保持・増進を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、グループワーク・実習・試食等を行った。それぞれの受講者アンケートで、「参考になった」「これからの生活に活かしたい」等の回答を多くいただき、今後の食生活や子育てを前向きな様子が見えた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標開催数に達することができているため。
	a		
質的	評価	評価理由等	感染拡大防止に配慮し内容を工夫しながら実施した。受講者アンケートから、今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけができたことがうかがえたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
50	休日診療・休日準夜診療事業	健康推進課	
事業内容			
日曜・祝日・年末年始の昼間及び準夜に外来急病患者に対する診療を行う事業。医師会・歯科医師会に委託し、市内医療機関の輪番方式で実施する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	必要としている市民が受診できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	必要としている市民が受診できている。		
令和3年度実績			
量的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は継続していたが、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもと、市民が利用可能な休日診療体制を整えた。また、歯科については前年度の状況を踏まえ、対応可能な歯科の医療機関を増やし、体制強化を図った。</p> <p>新型コロナワクチン接種の進展等もあり、受診者数は増加した。 休日診療受診者数 【医科】休日：1,645 準夜：107／【歯科】休日：244 準夜：34</p>		
質的	休日の診療環境を提供することで、休日であっても医療等を受けることができ、市民が安心して生活することができる環境を確保した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	量的実績値から、必要としている市民が必要な時に医療機関を受診できていると評価し、令和3年度目標を達成したと判断した。	
	a		
質的	評価	休日の診療環境の提供により、市民が安心して生活できる環境を確保できていると判断した。小児科については、その専門性等も踏まえ、近隣にある都立小児総合医療センターに設置されている小児ERの情報提供等を引き続き行っていく必要がある。	
	a		
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様	
	A		

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

各事業について、おおむね達成することができている。事業ごとに見ていくと、通番51 学校全体での人権教育の取組の充実については、人権教育の全体計画等の見直しや改善を行っており、人権教育推進委員会で作成した指導資料等を活用した授業改善が図られた。通番52 障害への理解促進・普及啓発事業については、障害への理解促進に関する啓発活動の目標が達成されており、広く市民への啓発が行われた。通番53 たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供については、講座開催による性の多様性への理解促進が図られており、講座参加者に内容を高く評価された。通番54 児童虐待防止に関する啓発活動については、講演会の実施などにより児童虐待防止の啓発が図られており、理解を広める取組がなされた。通番55 児童虐待に対する早期発見・深刻化防止については、虐待の未然防止、要保護・要支援児童の早期発見を行うための頻回な庁内・庁外連携、会議の実施などにより、虐待の深刻化防止に努めた。通番56 いじめ防止に向けた取組の充実については、アンケートや日常の相談等を通して、子どもが嫌な気持ちになったと訴えた件について、まずはいじめとして認知し、その1件1件について聞き取り、対応を図った。また、サポートチーム会議を活用し、地域や関係機関との情報共有を図ることもできた。認知したいじめの大半は、調査を行った学期中に、対応して、観察中となっており、早期の対応が図られた。

2 施策の方向性に係る実施状況

子どもの権利の趣旨については、様々な機会を活用し、幅広く市民への啓発を行うとともに、子どもの視点に立った施策の実現に努めるため、通番51 学校全体での人権教育の取組の充実においては、各校の実態に応じて、全校で人権集会や人権標語づくり、人権メッセージや人権作文の発表会等の取組を行っている。通番52 障害への理解促進・普及啓発事業においては、「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の普及啓発活動を通じて、障害や障害のある人への理解を深めた。また、互いを思いやる心を育む「心のバリアフリー」を推進するため、普及啓発グッズを作成し、市内小学校の児童に配付している。通番53 たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供においては、主に保護者を対象とした、子どものセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツを考える講座を開催している。通番54 児童虐待防止に関する啓発活動、通番55 児童虐待に対する早期発見・深刻化防止においては、児童虐待防止について、市報、ホームページの掲載やリーフレットの配架により、普及啓発を実施した。また、市内公立の小中学生に「子ども専用相談電話」の周知を行い、体罰は虐待に当たることなどの啓発活動を実施した。

障害のある子ども、外国にルーツを持つ子ども、LGBT等である子ども等も含め、全ての子どもの個々の権利や個性が、あらゆる場面で守られるよう、障害、異文化、多様な性等に対して理解を深める事業や啓発事業を実施するため、通番51 学校全体での人権教育の取組の充実においては、令和2年度の計画を見直し、改善した全体計画や年間指導計画に基づき、各学校の実態に応じた取組を進めた。通番52 障害への理解促進・普及啓発事業においては、障害者週間に合わ

せた障害者（児）の作品展示を行い、作品を見た人が作品を通して障害者（児）の個性に触れ、文化芸術活動を通してその多様性を理解する機会を提供している。通番53 たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供においては、性的指向・性自認に関する悩み事を弁護士に相談できる「国分寺市にじいろ相談」事業を開始した。また、多様な性に関する職員研修及び市民講座を開催している。通番54 児童虐待防止に関する啓発活動においては、養育環境に不安のある家庭からの問い合わせがあった場合には、各関係機関が提供しているサービスの中から必要なサービスを案内し、育児負担の軽減を図れるよう努めることや、要保護児童対策地域協議会を核として、各関係機関と密な連携を図った。また、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談を実施し、民生委員・児童委員・母子父子自立支援員・スクールソーシャルワーカーとの連絡会議に参加している。

いじめについては、早期発見・早期対応はもちろんのこと、防止のための啓発事業や児童・生徒の豊かな心の育成を図る取組を充実させるため、通番56 いじめ防止に向けた取組の充実においては、毎年実施している「弁護士によるいじめ予防授業」や「いじめ防止児童会・生徒会フォーラム」等の取組は、感染防止対策を徹底しながら継続して実施した。

児童虐待の防止・予防対策の充実としては、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が地域で広まるよう普及啓発に努めるため、通番54 児童虐待防止に関する啓発活動においては、「体罰によらない子育て」について、リーフレットの配架やホームページで普及啓発を実施することや、「子ども専用相談電話」の広報として、市内公立小中学校において校内放送での案内を行うとともに、全生徒に「こそでんカード」の配布を行った。また、「こそでんカード」配布時に虐待の防止に関するリーフレットを併せて配布している。通番55 児童虐待に対する早期発見・深刻化防止においては、養育環境に不安のある家庭からの問い合わせがあった場合には、各関係機関が提供している必要なサービスを案内し、育児負担の軽減を図れるよう努めている。また、要保護児童対策地域協議会を核として、各関係機関と密な連携を図っており、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談、民生委員・児童委員・母子父子自立支援員・スクールソーシャルワーカーとの連絡会議に参加するなど活動を拡充している。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。なお、本施策に掲げられている重点事業や施策の方向性の実施状況から、このとおりと判断するが、通番54 児童虐待防止に関する啓発活動においては、評価理由欄に記載のとおり、代替措置による取組については、より効果的な普及啓発を検討する必要があると考える。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 児童虐待の防止・予防対策の充実化を図るためには、要保護児童対策地域協議会を核とした、各関係機関同士の密接な関係作りが重要である。会議の場だけでなく、日常的なつながりをもつことで、関係機関同士の円滑な情報共有や取組に対する連携強化が期待できる。については、これらの実現に向けた効果的な対策について検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
51	学校全体での人権教育の取組の充実		学校指導課
事業内容			
人権について重点的に考える人権週間に合わせて、全市立小・中学校で、人権集会や人権標語づくり、人権メッセージや人権作文の発表会等の取組を充実するとともに、人権教育推進委員会作成のリーフレットを活用して、人権教育の指導の充実を図る事業			
令和6年度目標			
量的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
質的	人権教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施している。		
質的	人権教員推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和3年度実績			
量的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づいて実施した。		
質的	人権教育推進委員会において作成した指導資料を3月末に全校に配布し、次年度の授業等で活用するよう周知した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	全校が学校経営方針に人権教育の取組を記載するとともに、人権教育全体計画等の見直しや改善を行った。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	各学校に「人権教育推進委員会で作成した人権教育推進資料等を活用し、授業改善を図った学級の割合」を調査した結果、小・中学校共に、全学級が人権教育推進委員会の指導資料等を活用して、授業改善を図っていた。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
52	障害への理解促進・普及啓発事業		障害福祉課
事業内容			
障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害及び障害のある人に対する理解の促進を図り、普及啓発に努める。			
令和6年度目標			
量的	市主催の障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。		
	障害への理解促進、差別解消に関する講演会等や障害者週間行事を開催している。		
質的	障害者週間に合わせた障害者の作品展示及び啓発ポスター掲示について、市内公共施設にとどまらず、地域活性化包括連携協定を活用し、国分寺駅ビルを中心に行い、幅広い市民に啓発を行う。		
	障害者週間に合わせた障害者の作品展示及び啓発ポスター掲示について、市内公共施設にとどまらず、地域活性化包括連携協定を活用し、国分寺駅ビルを中心に行い、幅広い市民に啓発を行う。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ週間行事の取組みとして大型のイベント開催は行わず、障害者の作品展示を1回実施し、啓発ポスターを普及する。ほか様々な手法を取り入れ障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。		
	障害者週間に合わせた障害者の作品展示及び啓発ポスター掲示について、市内公共施設にとどまらず、地域活性化包括連携協定を活用し、国分寺駅ビルを中心に行い、幅広い市民に啓発を行う。		
質的	障害者週間に合わせた障害者の作品展示及び啓発ポスター掲示について、市内公共施設にとどまらず、地域活性化包括連携協定を活用し、国分寺駅ビルを中心に行い、幅広い市民に啓発を行う。		
	障害者週間に合わせた障害者の作品展示及び啓発ポスター掲示について、市内公共施設にとどまらず、地域活性化包括連携協定を活用し、国分寺駅ビルを中心に行い、幅広い市民に啓発を行う。		
令和3年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染予防のため大型イベントの開催は見送ったが、障害者週間行事として、障害者週間の啓発ポスターを作成し、障害者（児）の作品展示と合わせて市内各所に掲示を行った。「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の普及啓発活動を市関連イベント等にて行い、人権啓発映画上映会、ガイドヘルパー養成講座、防災まちづくり学校、市内小学校等において計12回行った。		
	障害者週間に合わせて、障害者（児）の作品展示を国分寺駅ビル等広く市民の目に届く場所で行った。ポスター掲示については、地域活性化包括連携協定参加団体、駅構内、医療機関、自治会及び町内会、特別支援学校等多岐に渡り掲示依頼を行い、広く障害及び障害がある人への理解促進に関する啓発に努めた。		
質的	障害者週間に合わせて、障害者（児）の作品展示を国分寺駅ビル等広く市民の目に届く場所で行った。ポスター掲示については、地域活性化包括連携協定参加団体、駅構内、医療機関、自治会及び町内会、特別支援学校等多岐に渡り掲示依頼を行い、広く障害及び障害がある人への理解促進に関する啓発に努めた。		
	障害者週間に合わせて、障害者（児）の作品展示を国分寺駅ビル等広く市民の目に届く場所で行った。ポスター掲示については、地域活性化包括連携協定参加団体、駅構内、医療機関、自治会及び町内会、特別支援学校等多岐に渡り掲示依頼を行い、広く障害及び障害がある人への理解促進に関する啓発に努めた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	年1回の障害者週間に合わせて障害者（児）の作品展示を行い、その他障害への理解促進に関する啓発活動を計12回行うことができ、目標を達成した。今後も引き続き、啓発活動の場の確保に取り組んでいく。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、大型イベントは行うことができなかったが、イベントに代わる取組を検討・実施し、広く障害及び障害がある人への理解促進に関する啓発を行うことができた。今後は、より広く市民が障害理解への関心を持つことができるような講演・行事の開催に取り組んでいく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
53	たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供	人権平和課	
事業内容			
男女平等推進センターにおける講座等を通じて、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)」及び性の多様性への理解促進を図る。			
令和6年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
質的	性の尊重や生殖に関する自己決定権について、定期的に情報を提供することや啓発する講座を開催している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
質的	性の尊重や生殖に関する自己決定権について、定期的に情報を提供することや啓発する講座を開催している。		
令和3年度実績			
量的	性的指向・性自認に関する悩み事を弁護士に相談できる「国分寺市にじいろ相談」事業を開始した。 セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（SRHR）講座1回 性の多様性講座2回（職員研修1回，市民向け講座1回）		
質的	令和2年度に引き続き，国分寺マルイと連携し，店頭・店内にポスター等を掲示したことは，広く市民に周知する機会となった。アンケートでは講座・研修内容を高く評価されていることから，参加者にとって有益な講座となった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和3年度目標を上回る回数の講座を実施したため。
	a		
質的	評価	評価理由等	各講座・研修において，からだの性やこころの性，自身のからだを大切にすることを学ぶ機会を提供することができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

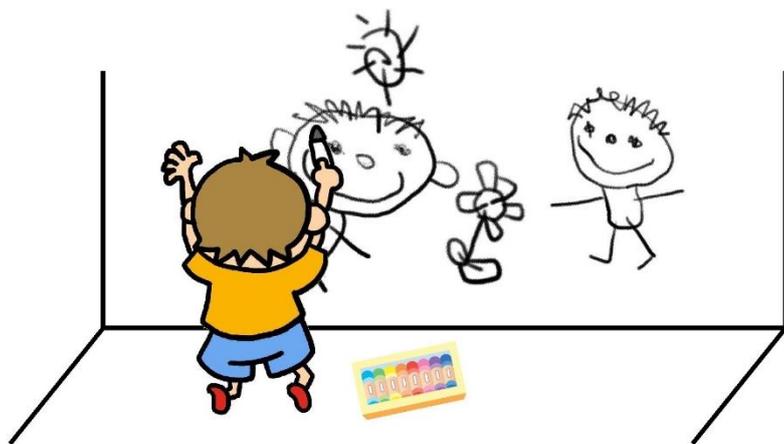
通番	事業名		所管課
54	児童虐待防止に関する啓発活動		子育て相談室
事業内容			
「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき、以下の事業を実施 ①市報・ホームページ掲載 ②講演会の実施 ③全小・中学校への訪問啓発 ④街頭での防止キャンペーンの実施			
令和6年度目標			
量的	①～④ 各1回/年実施		
質的	体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が広まっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	①～④ 各1回/年実施 新型コロナウイルス感染症対策が継続的に必要な場合、代替案も検討し、実施できている。		
質的	体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が広まっている。		
令和3年度実績			
量的	①市報は毎月、ホームページは常時、児童虐待の通告先や市が実施している子ども専用相談電話（こそでん）等の連絡先を掲載した。 ②令和3年12月4日講演会（親の接し方しだいでかわる子どもの心）を実施。参加人数54人。 ③市内公立小・中学校へ訪問し、子ども専用相談電話についての啓発を校内放送で実施するとともに、「こそでんカード」を全生徒に配布。 ④はキャンペーンの実施に替えて、公民館、児童館など、児童虐待防止の普及啓発資料を配架した。		
質的	①～④の実施により、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解について普及啓発を図ったことで、理解が広まったと考えられる。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 b	評価理由等	代替も含めて、4事業すべて実施した。
質的	評価 b	評価理由等	①～④の実施により、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解について普及啓発を図った。④は代替実施であり、より効果的な普及啓発方法を検討する必要がある。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
55	児童虐待に対する早期発見・深刻化防止	子育て相談室
事業内容		
児童虐待の未然防止・早期発見のため、保育施設・学校巡回、研修の実施により、養育環境に不安のある児童の共有、通告の必要性に対して、関係機関の理解を得る。また、関係機関の密な連携を図り、虐待の深刻化を防止する。		
令和6年度目標		
量的	事業評価は数値化しづらい。	
質的	庁内・庁外連携が図れており、児童虐待の未然防止・早期発見を行うことができ、虐待の深刻化を防止できている。	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	事業評価は数値化しづらい。	
質的	庁内・庁外連携が図れており、児童虐待の未然防止・早期発見を行うことができ、虐待の深刻化を防止できている。	
令和3年度実績		
量的	訪問・面接・電話等により庁内・庁外関係機関等と連携した件数 11,561件	
質的	保育施設・学校巡回、研修、要保護児童対策地域協議会各会議の実施により、庁内・庁外連携を密に行い、児童虐待の未然防止・早期発見や、虐待の深刻化防止に努めた。	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	数値としての評価は難しいが、要保護・要支援児童の頻回な庁内・庁外連携、会議の実施などにより、虐待の深刻化防止に努めた。
	b	
質的	評価	庁内・庁外との密な連携により、児童虐待の未然防止・早期発見や、虐待の深刻化防止に努めた。
	b	
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様
	B	

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
56	いじめ防止に向けた取組の充実		学校指導課
事業内容			
児童・生徒が自分を大切にするとともに、他者を認め、いじめを許さない勇気を持ち、互いに思いやりをもちながら生活することができるよう、「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき、学校・家庭・地域が一体となっていじめ防止教育の充実に取り組む事業			
令和6年度目標			
量的	学校は認知した全てのいじめについて、対応をしている。		
質的	学校は認知したいじめについて、早期に対応をしている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	学校は、認知したすべてのいじめについて、対応をしている。		
質的	学校は認知したいじめについて、早期に対応をしている。		
令和3年度実績			
量的	学校は、子どもが嫌な思いをしたと訴えた件について、すべて聞き取りを行い、対応を図った。		
質的	年3回のいじめに関する調査で認知した件の大半は、学期末には、対応後、観察中となっており、全校が早期対応に努めた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	アンケートや日常の相談等を通して、子どもが嫌な気持ちになったと訴えた件について、まずはいじめとして認知し、その1件1件について聞き取り、対応を図った。また、サポートチーム会議を活用し、地域や関係機関との情報共有を図ることもできた。
	a		
質的	評価	評価理由等	認知したいじめの大半は、調査を行った学期中に、対応後、観察中となっており、早期の対応が図られている。一方で、いじめ防止対策審議会に諮問をしている重大事態の調査は継続しており、今後も法に基づき、適切に対応していく。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

各事業について、おおむね実施することができている。事業ごとに見ていくと、通番57 習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善においては、算数・数学における「基礎コース」の児童・生徒に対して、既習事項の振り返りや、未定着な部分の補充など、児童・生徒の実態に応じた授業が工夫して行った。また、全国学力・学習状況調査の算数・数学における東京都との平均正答率と比較して、小学校では4ポイント、中学校では6ポイント上回り、着実に習熟が図られていることが分かった。通番58 学校生活支援シートの活用の推進においては、昨年度と同様に100%に近い作成率となった。通番59 子ども読書活動推進計画事業においては、第二小学校、第三中学校の特別支援学級において、図書館職員が特別支援学級向けに選書した学級文庫を設置し、読書環境の充実を行った。通番60 生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）においては、リモートによる授業を行うなど利用者のニーズや状況に合わせた学習支援を行ったため、学習習慣の定着と居場所の確保につながった。通番61 受験生チャレンジ支援貸付事業においては、進学希望があり貸付を行った子どもが進学できた。通番62 道徳教育に関する実践的研究や研修の充実においては、全校が前年度の計画を見直し、全体計画や年間指導計画を改善しており、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。また、道徳教育推進委員会では、研究授業を通じた実践的な事例を基に指導資料を作成して、3月末に全校に配布、周知をした。通番63 ジュニアサマー野外活動交流会においては、東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の1年延期に伴い、時期が重複することから実施しないこととしたため、交流を図れなかった。通番64 小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、ピースメッセンジャーの被爆地派遣は実施できなかったが、小・中学生ピースメッセンジャー学習会を代替として実施した。参加した保護者や関係者からも、形式を変更し実施したことで、平和への思いをつなぐことができたことへの評価を受けた。通番65 史跡駅伝事業においては、安定的に事業を実施できるよう、スポーツ関係団体・学校・庁内関係各課との関係構築に努めたものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業を中止としたことから、小・中学生の体力・競技力の向上を図ることができなかった。通番66 国分寺市プレイステーション事業においては、施設の移転後、2年目を迎え新型コロナウイルス感染症対策を講じながら段階的に利用制限を解除し、年間264日の開園となった。延べ利用者は22,287人、一日あたりの利用者は84.4人、利用団体は10団体と、青少年が自然や野外での遊びを体験できる場を提供した。通番67 子ども対象事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながらの事業実施となったが、定員や講座の進行等工夫をすることで可能な限り事業を実施した。通番68 児童館での学生等の職場体験・実習受入事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、職場体験及び実習は対象者を絞って受入れたが、大学のインターンシップは、冒険遊び場の会の協働事業である青空ひろばで子どもたちと交流を行い、学生にとっても子どもたちにとっても貴重な学びや体験の場となった。

2 施策の方向性に係る実施状況

確かな学力を育むために、通番57 習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善、通番58 学校生活支援シートの活用の推進については、第2次国分寺市教育ビジョンに基づく施策を学校で着実に進めている。通番59 子ども読書活動推進計画事業においては、第二小学校、第三中学校の特別支援学級への学級文庫の貸出しを2学期から実施している。

将来の自立した生活を確保するため、通番60 生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）においては、利用者のニーズや状況に合わせた学習支援を行っている。通番61 受験生チャレンジ支援貸付事業においては、子どもの進路希望に沿った相談を受け、必要な貸付をしており、対象世帯にもれなく事業周知が行き届くよう、令和2年度に引き続き庁内関係部署と連携を図り、事業案内を行っている。また、生活困窮者自立支援事業における学習支援事業利用世帯にも事業の説明を積極的に行い、貸付利用希望者への支援をしている。

特別支援教育においては、通番58 学校生活支援シートの活用の推進については、障害のある児童・生徒一人ひとりのニーズを正確に把握し、長期的な視点で一貫して的確な教育的支援を行うために、学校生活支援シートを作成し、児童・生徒の進級に合わせた引き継ぎも行っている。通番59 子ども読書活動推進計画事業においては、特別支援学級への学級文庫の貸出を実施している。

豊かな心を育むために、通番62 道徳教育に関する実践的研究や研修の充実においては、道徳教育の一層の推進を図るために、指導方法や指導内容の充実・改善に関する実践的研究や研修を学校の実態に応じて実施した。通番63 ジュニアサマー野外活動交流会においては、東京2020オリンピックパラリンピックの関係により実施せず、交流を図ることはできなかった。通番64 小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）においては、平和祈念式は例年どおり開催し、平和祈念行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちの発表を中心とした内容に変更して実施した。また、東京空襲資料展では、保護者と子どもを対象として、絵本を通じた戦争体験者伝承者講話及び戦争体験者講話を開催した。通番65 史跡駅伝事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業を中止とした。通番66 国分寺市プレイステーション事業においては、移転後、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催を控えていた「利用者懇談会」を令和3年度においては開催し、プレイリーダーと子ども・大人との意見交換を行った。また、冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業において、子どもが店員として仕事を体験できる「駄菓子屋」や、中学生・高校生が自分たちで居心地のいい場をつくっていきける「夕暮れカフェ」の事業を実施した。あわせて、親子の交流の場として「土日カフェ」を実施し、その運営に子どもたちが参加できるようにして、子どもたちが地域の一員として過ごすきっかけづくりを行った。通番67 子ども対象事業においては、公民館全5館で23事業の子ども対象事業を実施している。通番68 児童館での学生等の職場体験・実習受入事業においては、大学のインターンシップは、冒険遊び場の会の協働事業である青空ひろばで子どもたちと交流が行えた。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。なお、本施策に掲げられている重点事業や施策の方向性の実施状況から、このとおりと判断する。なお、通番58 学校生活支援シートの活用の推進においては、学校生活支援シートが必要な児童・生徒の全てに作成が行われるよう、教職員に対して、さらに

周知徹底を図る必要がある。また、通番61 受験生チャレンジ支援貸付事業においては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、学校の保護者会での周知は実施できなかったが、本事業は毎年、校長会での事業説明を行っており、各学校への周知は継続して実施している。令和4年度は保護者会の活用等について、社会福祉協議会と市教育部署と協議し事業周知に取組む必要がある。通番63 ジュニアサマー野外活動交流会においては、今後より参加者の満足度が高いジュニアサマー野外活動交流会を実施できるように調整を進める。当該事業は2年間実施できておらず、またその間に社会状況も変化をしているため、事業の安全な実施についても再考をする必要がある。通番65 史跡駅伝事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、令和2年度・3年度と2年続けて事業は中止となった。その間に、社会状況の変化や、教員の働き方の変化などもあり、例年の駅伝とは違った実施方法や、関係各所との調整・関係構築が必要となっている面がある。目標についても、単純に参加者数を増やすだけでなく、より広く市民（特に子どもたち）が参加できる工夫や、参加者の満足度をより高められるように施策を実施する必要がある。通番68 児童館での学生等の職場体験・実習受入事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、職場体験及び実習は対象者を絞って受入れた。今後は感染症防止対策を実施しながら、できる限り職場体験や実習の受入れを行っていく。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
57	習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善	学校指導課
事業内容		
市立小・中学校で算数・数学を中心に実施している習熟度別指導において、基礎的・基本的学習内容について学ぶ「基礎コース」の児童・生徒には、既習学年にさかのぼり、未定着な部分を補充する学習を行う事業		
令和6年度目標		
量的	全校が習熟度別指導の「基礎コース」を設定し、実態に応じた学習内容を計画している。	
質的	全国学力・学習状況調査の算数・数学の平均正答率が東京都平均を大幅に上回っている。	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	全校が習熟度別指導の「基礎コース」を設定し、実態に応じた学習内容を計画している。	
質的	全国学力・学習状況調査の算数・数学の平均正答率が東京都平均を上回っている。	
令和3年度実績		
量的	全校が、算数・数学の習熟度別のコースを設定し、児童・生徒の実態に応じた授業を工夫して行った。	
質的	小・中学校共に、東京都の平均正答率を上回っていた。	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	学校では、算数・数学における「基礎コース」の児童・生徒に対して、既習事項を振り返ったり、未定着な部分を補充したりなど、児童・生徒の実態に応じた授業が工夫して行われた。
	a	
質的	評価	全国学力・学習状況調査の算数・数学における東京都との平均正答率と比較して、小学校では4ポイント、中学校では6ポイント上回っており、着実に習熟が図られていることが分かった。
	a	
結果	評価	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。 B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様
	A	

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
58	学校生活支援シートの活用の推進	学校指導課	
事業内容			
障害のある児童・生徒一人ひとりのニーズを正確に把握し、長期的な視点で一貫して的確な教育的支援を行うために、学校生活支援シートを作成し、児童・生徒の進級に合わせて引き継ぐ事業			
令和6年度目標			
量的	学校生活支援シートが必要な児童・生徒の内、作成されている割合が100%になっている。		
質的	学校生活支援シートを活用して、個別の課題に応じた支援が全校で実施されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	学校生活支援シートが必要な全ての児童・生徒に作成されている。		
質的	学校生活支援シートを活用して、個別の課題に応じた支援が全校で実施されている。		
令和3年度実績			
量的	学校生活支援シートが必要な児童・生徒の内、98%が作成された。		
質的	第2次国分寺市教育ビジョンの点検・評価に関する学校へのアンケートにおいて、「学校生活シートを必要な児童・生徒に作成し、活用している」という問いに、全ての学校が肯定的な回答をしている。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評理由等	昨年度と同様に100%に近い作成率となっているが、一部未作成となっていることもあり、学校生活支援シートが必要な児童・生徒の全てに作成が行われるよう、さらに周知徹底を図る必要がある。
	b		
質的	評価	評理由等	令和4年2月に策定をした「第4次国分寺市特別支援教育基本計画（義務教育時）」にも、「学校生活支援シート及び個別指導計画の効果的な活用の推進」を掲げており、本計画の内容について、全校の教職員への啓発に努めていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課	
59	子ども読書活動推進計画事業	図書館課	
事業内容			
読書を通じた子どもの情緒や感情の育成, 子どもの成長に合わせた語彙力・読書力の向上, 読書による自己能力と自己解決力の向上を目指して子どもの読書環境の整備を図る。 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもへの支援として, 特別支援学級への学級文庫の定期設置やそのPR, 図書館内の読書環境の整備を行う。			
令和6年度目標			
量的	第二中学校, 第二小学校への実施		
質的	学校と連携を図り, 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもの読書環境の整備や支援が拡充されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	第二中学校, 第二小学校		
質的	学校と連携を図り, 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもの読書環境の整備や支援が拡充されている。		
令和3年度実績			
量的	第二小学校, 第三中学校で実施。		
質的	特別支援学級の児童・生徒が読みやすい図書を選定・購入し, 40冊程度を特別支援学級用団体貸出セットにして, 学級団体貸出を行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	「令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標」として掲げた。予定した第二中学校については, 学校に学級文庫を受け入れる体制が整っていなかったため実施を見送ったが, 第二中学校と同様に特別支援学級がある第三中学校への貸出を行った。
	C		
質的	評価	評価理由等	第二小学校, 第三中学校の特別支援学級において, 図書館が特別支援学級向けに選定した学級文庫を貸出し, 読書環境の充実化を図ったため。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は, 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
60	生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）		生活福祉課
事業内容			
家庭の経済的な事情で学習塾に通えない、家庭教師がつけられない小学校3年生から中学校3年生を対象に、ボランティア講師による個別指導、交流行事や地域イベントへの参加を通じた学習支援・居場所づくりを行う。			
令和6年度目標			
量的	新規相談者数 55人 利用者数 44人		
	学習習慣が定着し、居場所ができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	新規相談者数 47人 利用者数 38人		
	学習習慣が定着し、居場所ができている。		
令和3年度実績			
量的	新規相談者数（世帯） 27人（25世帯） 利用者数 39人		
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、会場が使用できなかった緊急事態宣言中は休塾としたが、状況に応じてリモートでの授業も行った。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、休塾期間があったため、新規の相談が減少した。利用者に対しては、状況に応じてリモートによる授業を行ったため、利用者数は目標を達成した。
	C		
質的	評価	評価理由等	学習塾の密を回避するため、会場の関係で利用者数が限られたことも影響し、事業利用者数は目標に届かなかったが、利用者のニーズや状況に合わせた学習支援を行ったため学習習慣の定着と居場所の確保につながった。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
61	受験生チャレンジ支援貸付事業		生活福祉課
事業内容			
一定所得以下の世帯の子どもへの学習などの支援を目的とし、学習塾などの費用や、高校や大学などの受験費用について貸付けを行う事業。貸付対象である学校へ入学した場合、免除申請を行うことにより返済が免除（償還免除）される。			
令和6年度目標			
量的	相談件数：841件 貸付決定件数：84件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	相談件数：841件 貸付決定件数：84件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和3年度実績			
量的	相談件数：449件 貸付決定件数：61件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	相談件数及び貸付決定件数ともに目標を下回ったため。 なお、本事業の所得基準・収入基準は、生活保護世帯の1.1倍以下である。当市の生活保護率は9.1%（令和4年3月）であり、26市平均保護率17.4%を大きく下回っている。学齢期の子どもを育てている生活困窮者数を把握することが難しいことから、本計画策定時、過去5年間の平均を基に、相談件数・貸付決定件数の目標値を定めたが当市の現状を反映していなかった可能性がある。次年度以降の目標値については、現状を踏まえた精査を行い設定する。
	C		
質的	評価	評価理由等	進学希望があり貸付を行った子どもが進学できたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
※ a, b 及び c の評価指標についても同様			

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
62	道徳教育に関する実践的研究や研修の充実		学校指導課
事業内容			
市立小・中学校における道徳教育の一層の推進を図るために、指導方法や指導内容の充実・改善に関する実践的研究や研修を実施する。			
令和6年度目標			
量的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
質的	道徳教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
質的	道徳教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和3年度実績			
量的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施した。		
質的	道徳教育推進委員会において作成した指導資料を3月末に全校に配布し、周知した。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	全校が前年度の計画を見直し、全体計画や年間指導計画を改善した。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	道徳教育推進委員会では、研究授業を通じた実践的な事例を基に、指導資料を作成し、3月末に全校に配布、周知した。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
63	ジュニアサマー野外活動交流会		スポーツ振興課
事業内容			
平成元年に国分寺市と旧真野町が姉妹都市の盟約を結んだことをきっかけとして、国分寺市の小・中学生が佐渡の自然や文化に触れる機会を創出することで、佐渡市との友好関係を次世代に引き継いでいくとともに、佐渡市の子どもたちと一緒にスポーツなどの活動を通して交流を深めることを目的とする。			
令和6年度目標			
量的	国分寺市参加者数：30人		
質的	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	東京2020オリンピックパラリンピックの1年延期に伴い、時期が重複することから実施しないこととする。		
質的	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。		
令和3年度実績			
量的	東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の1年延期に伴い、時期が重複することから実施しないこととした。		
質的	佐渡市の子どもたちとの交流を図ることができなかった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の1年延期に伴い、時期が重複することから実施しないこととしたため。
	C		
質的	評価	評価理由等	佐渡市との友好関係は継続できているものの、事業自体が実施できず中止となったことにより交流を図ることができなかったため。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
64	小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）		人権平和課
事業内容			
次世代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話の聴講、原爆関連施設等を見学することを通じて、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについての認識を深め、平和をつくる意識を醸成する。			
令和6年度目標			
量的	年1回実施		
	児童・生徒が被爆地で様々な体験をすることにより、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	年1回実施		
	児童・生徒が被爆地で様々な体験をすることにより、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めている。		
令和3年度実績			
量的	令和2年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、ピースメッセンジャーの被爆地派遣は実施できなかったが、小・中学生ピースメッセンジャー学習会を代替として実施した。参加した保護者や関係者からも、様々な各種行事が中止になる中においても、一部をオンライン形式にするなど変更実施したことで、平和への思いをつなぐことができたことへの評価を受けた。		
	オンラインによる被爆地広島の中学生・高校生との交流や被爆体験伝承者の講話を通じ、命の尊さと平和の大切さを学んだ。令和3年度においては、これまでの対面から、初めてオンラインにより全国の参加者と平和の意見交換ができ、参加した子どもたちも多くの気づきや感じるがあった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	オンライン形式で、ピースメッセンジャーを実施できたが、オンラインで実施することで、対面とは違った難しさがあった。参加した子どもたちの集中力が継続できるような内容や時間について検討する必要がある。
	b		
質的	評価	評価理由等	オンラインを活用することで、例年通り、被爆地広島の中学生・高校生と交流することや、伝承者の講話を通じ、平和の大切さを学ぶ機会を提供することができたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
65	史跡駅伝事業		スポーツ振興課
事業内容			
歴史や自然等，国分寺で魅力あふれる史跡武蔵国分寺跡周辺で，市内小・中学生による駅伝を実施する。			
令和6年度目標			
量的	小学生40組 中学生40組		
	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
質的	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	小学生40組 中学生40組		
	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
質的	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
令和3年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により（参加者募集の段階で東京都にまん延防止等重点措置が発出されていたため）事業を中止とした。		
	スポーツイベントが中止となり，小・中学生の体力・競技力の向上を図ることができなかったものの，安定的に事業を実施できるよう，スポーツ関係団体・学校・庁内関係各課との関係構築に努めた。		
質的	スポーツイベントが中止となり，小・中学生の体力・競技力の向上を図ることができなかったものの，安定的に事業を実施できるよう，スポーツ関係団体・学校・庁内関係各課との関係構築に努めた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により（参加者募集の段階で東京都にまん延防止等重点措置が発出されていたため）事業を中止としたため。
	C		
質的	評価	評価理由等	今後より安定的に事業を実施できるよう，スポーツ関係団体・学校・庁内関係各課との関係構築に努めたものの事業は中止となり，小・中学生の体力・競技力の向上を図ることができなかったため。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
66	国分寺市プレイステーション事業		子ども子育て支援課
事業内容			
青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。			
令和6年度目標			
量的 質的	年間来場者数：15,000人		
	青少年が自然や野外での遊びを体験できる場を提供できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的 質的	年間来場者数：12,000人		
	青少年が自然や野外での遊びを体験できる場を提供できている。		
令和3年度実績			
量的 質的	年間来場者数：22,287人		
	施設の移転後2年目を迎え、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、段階的に施設の利用制限を解除していった。また、施設の利用者との共同作業による屋外遊具を増やし、遊びの幅を広げた。あわせて、冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業を展開し、当該施設の機能強化を図った。駄菓子屋等事業運営に子どもたちが関わったことで、店員を楽しむ子どもたちが増え、仕事体験を通して、また、居場所づくりのカフェ事業では、親子連れや地域の方々が気軽に参加することができ、地域に開かれた多世代交流の場を実現させることができた。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、段階的に施設の利用制限を解除したことから、利用者の居場所として認知され、年間来場者数は大幅に増えた。
	a		
質的 結果	評価	評価理由等	これまでの運営に加え、冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業を展開したことにより、乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所の提供に尽力した。施設の屋外遊具等の作成にあたっては、ボランティアや利用者の共同作業で行うことにより、利用者の体験の場となった。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
67	子ども対象事業		公民館課
事業内容			
子どもたちの豊かな心を育むために、芸術、文化、科学、スポーツなどあらゆる分野の学びの機会を提供する。			
令和6年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で25事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で10事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和3年度実績			
量的	企画事業数：23 実施事業数：23		
質的	事業の平均満足度：93.51%		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながらの事業実施となったが、定員や講座の進行等工夫をすることで、可能な限り事業実施に努めた。今後は新しい生活様式を取り入れ、さらに多くの方が安心して参加できるような企画を検討する必要がある。
	a		
質的	評価	評価理由等	実施した事業については、それぞれ参加者から高い満足度が得られた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
68	児童館での学生等の職場体験・実習受入事業		子ども子育て支援課
事業内容			
地域に開かれた児童館として、中・高校生世代、大学生等を対象とした職場体験及び実習の受入れを行う。			
令和6年度目標			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計60人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるような体験・実習の活動内容となっており、参加者にとって貴重な学びの機会となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計24人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるような体験・実習の活動内容となっており、参加者にとって貴重な学びの機会となっている。		
令和3年度実績			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計2人		
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、職場体験及び実習は、大学のインターンシップと社会福祉協議会職員のための最低限での受入れとなったが、参加者にとっては貴重な学びや体験の場となった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染対策として、職場体験や実習の受入れをすることがあまりできなかったため、今後は適切な対策と管理を行いながら受入体制を整えていく。
	C		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、職場体験及び実習は最低限で受入れたが、大学のインターンシップは、冒険遊び場の会の協働事業である青空ひろばで子どもたちと交流を行い、学生にとっても子どもたちにとっても貴重な学びや体験の場となった。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

各事業について、おおむね実施することができている。事業ごとに見ていくと、通番69 若者支援事業においては、窓口相談利用件数が目標値を下回ったが、個別相談会及び研修会は計画通りに実施することができた。また、地域の各種機関によるネットワークの更なる連携強化を推進するため、若者支援地域ネットワーク会議を書面開催するなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を実施しながら、会議を継続して実施した。通番70 不登校児童・生徒への支援の充実においては、トライルームを利用する中学生の人数が増加し、小学生も含めた全体の人数も若干の増加となった。また、学校と連携を図りながら、中学校3年生の進路指導について丁寧に指導、支援を行い、卒業までに全員の進路が決定している。

2 施策の方向性に係る実施状況

若年無業者（ニート）やひきこもりなどで悩む若者や家族に対し、通番69 若者支援事業においては、必要な人が相談を受けることができるよう、オンラインによる家族セミナー実施後に相談希望者と日程調整を行い、別途個別相談会を実施した。また、地域の各種支援機関の連携充実に資するよう、実施方法に書面開催を取り入れるなどの工夫をしながら、会議や研修を実施した。

悩みを持った児童・生徒・保護者が相談しやすい体制や環境を整えるため、通番70 不登校児童・生徒への支援の充実においては、各学校で、担任だけが抱え込むことのないように、組織的な相談体制の構築に努めたほか、全校に配置しているスクールカウンセラーが、専門的な見地からも相談活動に当たった。不登校児童・生徒に対する取組としては、本多公民館に設置した「トライルームほんだ」を、令和3年度から週2日から週3日の運用に変更した。

自立に困難を有する若者やその家族が、各専門分野の機関を利用することの重要性を理解し、相談支援機関や身近に地域のサービスがあることを知ってもらうため、通番69 若者支援事業においては、必要なときにサービスを利用することができるよう、市の相談窓口をホームページで周知した。また、若者を取り巻く社会状況や効果的な接し方・伝え方を学ぶために実施している家族セミナーでは、支援機関を利用することの重要性と地域の身近なサービスを案内していることから、同セミナーを受講してもらえよう、ホームページ・市報・チラシ・ポスターで周知した。その他、自立に困難を有する若者に対する偏見等を無くすため、若者の取り巻く現状について、若者支援地域ネットワーク会議を構成する機関のひとつである公民館課とともに、元ひきこもり当事者を講師とした市民向け講座を実施した。

学校教育においては、全ての児童・生徒に対して、令和2年度から市立小・中学校全校で「キャリアパスポート」（児童・生徒自らが記録し、学期、学年、入学から卒業までの学習を見直し、振り返ることができるように保管するポートフォリオのこと）の作成に取り組んだ。また、各学校では、発達の段階に応じて、適宜、キャリアパスポートを活用しながら、キャリア教育の推進に努めた。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。なお、通番69 若者支援事業においては、量的実績は目標値を下回っているが、質的実績と施策の方向性に係る実施状況から、上記のとおりと判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとした上で、以下の意見を付す。

- 通番70 不登校児童・生徒への支援の充実として実施されている「トライルーム」は、児童・生徒一人ひとりと向き合い学校復帰と社会自立を目指した事業として評価できる。しかし、不登校児童・生徒が抱える課題や問題はそれぞれ異なり、必要な支援内容もそれぞれ異なっていることが推察される。そのため、トライルームの設置数を増やすことも含め、より相談しやすく、支援を受けやすい環境の実現に向けて努められたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名		所管課
69	若者支援事業		子ども若者計画課
事業内容			
<p>社会生活を円滑に営む上で困難を抱える若者について自立に向けた支援を行うため、庁内関係課と各種専門的な支援を行う機関や地域で活動する団体で構成する国分寺市若者支援地域ネットワークで連携し、包括的支援を継続的に行う。当事者とともにその家族への支援を行うため、相談会等を実施する。地域の各種機関によるネットワークの強化を図り、関係機関の連携を更に推進するとともに、地域で支えるしくみを構築する。</p>			
令和6年度目標			
量的	相談窓口利用件数：30件 個別相談会及び研修会実施回数：3回		
	地域に暮らす全ての人々が、当事者を正しく理解し支えることができるよう、講演会など理解を深める取組が実施されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標			
量的	相談窓口利用件数：25件 個別相談会1回・研修会1回：計2回		
	地域の各種機関によるネットワークの更なる連携強化を推進するため、若者支援地域ネットワーク会議を開催し、情報共有を図る。 ひきこもり等の相談に対し、関係機関等と連携・対応し、適切な支援先へつなぐ。		
令和3年度実績			
量的	相談窓口利用件数：8件 個別相談会1回・研修会1回：計2回実施		
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として書面開催等も活用しながら連携体制を維持・充実させるため、若者支援地域ネットワーク会議を継続して実施し、情報の共有に努めた（庁内連携会議2回（うち書面1回）、実務者会議4回）。なお、研修会については、3市合同（立川市、国分寺市、国立市）形式としたことで、国分寺市の支援者が他市の取組を知ることができるなど、地域を越えて情報を共有する機会となった。		
令和3年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	個別相談会及び研修会については、当初の予定回数通り実施できたが、相談窓口利用件数は目標値を下回ったため、量的な実績の評価は左記のとおりと判断した。
	C		
質的	評価	評価理由等	地域の各支援機関による更なる連携強化を推進するため、若者支援地域ネットワーク会議を書面開催するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら会議を継続して実施した。 また、3市合同で実施した研修会は、他市の取組等に触れる機会となったことから、ネットワークの更なる連携強化を推進するうえで重要なものとなった。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和3年度）

通番	事業名	所管課
70	不登校児童・生徒への支援の充実	学校指導課
事業内容		
不登校問題に対応するために、適応指導教室（トライルーム）において、体験活動等を通して、児童・生徒一人ひとりと向き合い、学校復帰と社会的自立を目指す指導を実施する事業		
*「適応指導教室（トライルーム）」は、名称を変更し、令和4年4月1日から「トライルーム」として事業を実施しています。		
令和6年度目標		
量的	不登校の状況にある児童・生徒の通室数をできる限り増やす。	
質的	不登校児童・生徒が支援により学校復帰することができている。	
令和6年度目標達成に向けた令和3年度目標		
量的	不登校の状況にある児童・生徒の中で、トライルームに通室する人数が増えている。	
質的	トライルームでは、不登校児童・生徒の状況が、好転傾向に改善されるよう、継続的な支援に努めている。	
令和3年度実績		
量的	トライルーム通室の人数は、令和2年度は小学生6名、中学生30名の計36名だったが、令和3年度は、小学生3名、中学生37名の計40名となり、4名の増加となった。	
質的	トライルームでは、児童・生徒の状況に応じて、在籍校を訪問したり、担任等と面接を行うなど、学校復帰に向けてスモールステップの取組を行った。また、全校に設置しているサポート教室の利用についても、状況に応じて提案した。	
令和3年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休校等もあったため、純粋な比較とはならないが、令和3年度は中学生の利用人数が増加し、小学生も含めた全体の人数も若干の増加となった。
	a	
質的	評価	令和3年度も学校と連携を図りながら、中学校3年生の進路指導について丁寧に指導、支援を行ってきた。その結果、卒業までに全員が進路を決定することができた。
	a	
結果	評価	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和3年度目標を達成した。
	A	B: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標をおおむね達成した。
		C: 令和6年度目標に向けた令和3年度目標を下回った。
		※ a, b 及び c の評価指標についても同様





子ども・子育て支援事業計画
評価書
(計画第5章評価部分)

1 幼稚園，保育所，認定こども園，地域型保育事業等

国分寺市は、計画に基づいて保育所の整備を行い、定員拡充を図ってきたことで、待機児童数は減少傾向にある。一方で、昨年度を含め、過去数年の量の見込みについては、これまでの新型コロナウイルス感染症による影響が一部あったことが思料される。今後の量の見込みの推移について、様々な要因が影響する可能性を踏まえ、引き続き注視されたい。

また、年度途中に入所を希望する児童については、年齢によっては入所が難しいものもあるため、通年で入所できる環境の確保に向けて、その仕組み等についても、あわせて検討されたい。

2 地域子ども・子育て支援事業

「放課後児童健全育成事業（学童保育所）」の小学4年生から6年生（以下「高学年」という。）については、公設学童保育所において、施設が狭隘な状況を理由に障害がある児童を除き受け入れができていない。このような状況において、令和3年度から試行実施として定員に空きのある民設民営学童保育所で小学4年生の受け入れを実施したことについては評価したい。一方で、民設民営学童保育所においては、小学1年生から3年生で定員に達している施設や施設が1つもない小学校区域もあり、小学4年生を受け入れできる定員枠に限りがある状況である。引き続き、高学年の受け入れに係る有効な方法等について検討されたい。

3

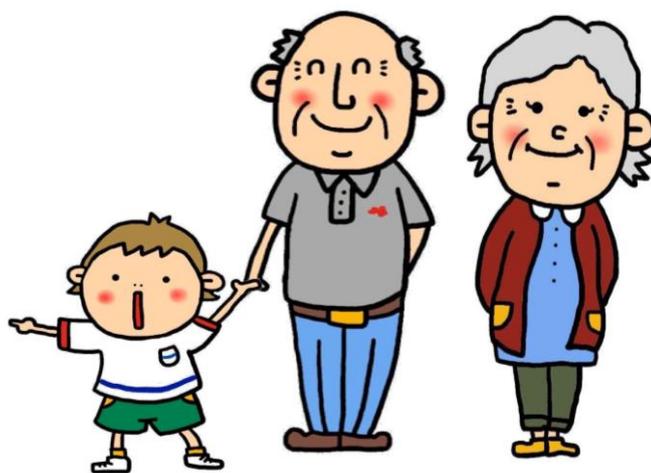
教育・保育の一体的提供及び推進等に関する事項

「教育・保育と小学校教育の円滑な接続の在り方」については、基幹型保育所システム事業での取組が報告され、コロナ禍においても事業を実施するために工夫されたその内容は昨年度に引き続き評価できる。今後当該事業を実施するに当たっては、教育・保育施設と小学校との連携を強化し、市内の未就学児童が、一人でも多く就学への期待感を高め、発達や学びの連続性を確保できるよう、事業の実施方法についてさらに工夫を重ねることを期待したい。

4

その他の取組

「子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する東京都との連携」については、東京都が行う施策との連携を図るとともに、市の実状に応じた施策を展開するとしている。このうち、「児童虐待防止対策の充実」のために実施した各取組については、その効果の検証は困難であることが予想される。については、事業実施の目的を鑑み、効果の検証が可能な他の取組についても検討されたい。





子ども・子育て支援事業計画
実績値等
(計画第5章評価部分)

【人】

計画						
	1号認定	2号認定	3号認定			
			2歳	1歳	0歳	
児童数（推計）	3,282		1,024	1,059	1,010	
量の見込み（A）	1,421	1,861	589	608	311	
確保方策						
特定教育・保育施設	幼稚園 保育所 認定こども園	83	1,931	602	534	302
未移行幼稚園	上記以外の幼稚園	1,338	-	-	-	-
特定地域型保育事業	小規模保育， 家庭的保育， 居宅訪問型保育， 事業所内保育等	-	-	8	8	4
企業主導型保育施設の地域枠		-	0	8	8	3
認可外保育施設	認証保育所など 上記以外の施設	-	54	38	28	15
確保方策合計（B）		1,421	1,985	656	578	324
過不足（C） = （B） - （A）		0	124	67	▲30	13
3号認定保育利用率（%） （D） = （B） / 児童数（推計）		-	-	64.0	54.5	32.0
当該年度までに新たに確保する量						
特定保育施設（E）		0	117	36	36	0
確保後の過不足（C） + （E）		0	241	103	6	13

実績						
	1号認定	2号認定	3号認定			
			2歳	1歳	0歳	
児童数	3,379		1,065	1,005	949	
量の見込み（A）	1,523	1,757	667	636	328	
確保方策						
特定教育・保育施設	幼稚園 保育所 認定こども園	115	1,967	618	538	305
未移行幼稚園	上記以外の幼稚園	1,408	-	-	-	-
特定地域型保育事業	小規模保育， 家庭的保育， 居宅訪問型保育， 事業所内保育等	-	-	8	8	4
企業主導型保育施設の地域枠		-	0	8	8	3
認可外保育施設	認証保育所など 上記以外の施設	-	42	39	37	17
確保方策合計（B）		1,523	2,009	673	591	329
過不足（C） = （B） - （A）		0	252	6	▲45	1
3号認定保育利用率（%） （D） = （B） / 児童数		-	-	63.1	58.8	34.6
当該年度までに新たに確保する量						
特定保育施設（E）		0	78	24	21	0
確保後の過不足（C） + （E）		0	330	30	▲24	1

(1) 利用者支援事業		
≪基本型・特定型≫		【か所数】
	計画	実績
量の見込み (A)	5	5
基本型	4	4
特定型	1	1
確保方策 (B)	4	4
基本型	3	3
特定型	1	1
差引 (B) - (A)	▲1	▲1
≪母子保健型≫		【か所数】
	計画	実績
量の見込み (A)	1	1
母子保健型	1	1
確保方策 (B)	1	1
母子保健型	1	1
差引 (B) - (A)	0	0

(2) 時間外保育事業		
		【人】
	計画	実績
量の見込み (A)	792	448
確保方策 (B)	3,369	3,383
差引 (B) - (A)	2,577	2,935

(3) 放課後児童健全育成事業 (学童保育所)		
		【人】
	計画	実績
量の見込み (A)	1,499	1,393
低学年	1,316	1,375
高学年	183	18
確保方策 (B)	1,297	1,363
低学年	1,275	1,330
高学年	22	33
過不足 (C) = (B) - (A)	▲202	▲30
低学年	▲41	▲45
高学年	▲161	15
当該年度までに新たに確保する量 (D)	80	30
低学年	80	30
高学年	0	0
確保後の過不足 (C) + (D)	▲122	0
低学年	39	▲15
高学年	▲161	15

(4) 放課後子どもプラン
(放課後子供教室)

【延べ利用人数(人日)】

	計画	実績
量の見込み(A)	84,700	45,630
確保方策(B)	84,700	45,630
差引(B) - (A)	0	0

(5) 子育て短期支援事業
(ショートステイ事業)

【延べ利用人数(人日)】

	計画	実績
量の見込み(A)	41	39
確保方策(B)	362	359
差引(B) - (A)	321	320

(6) 乳児家庭全戸訪問事業

【延べ訪問人数】

	計画	実績
量の見込み(A)	1,192	967
確保方策(B)	1,192	967
差引(B) - (A)	0	0

(7) 養育支援訪問事業

【延べ訪問世帯数】

	計画	実績
量の見込み(A)	112	91
確保方策(B)	112	116
差引(B) - (A)	0	25

(8) 地域子育て支援拠点事業

【延べ利用人数】

	計画	実績
量の見込み(A)	57,021	35,043
確保方策(B)	55,903	35,043
実施か所数	9か所	8か所
差引(B) - (A)	▲ 1,118	0

(9) 一時預かり事業			
【延べ利用人数（人日）】			
		計画	実績
量の見込み (A)		28,571	37,489
幼稚園型	1号認定による利用	8,185	19,634
	2号認定による利用	5,471	16,693
幼稚園型以外		14,915	1,162
確保方策 (B)		25,456	37,489
幼稚園型	1号認定による利用	8,185	19,634
	2号認定による利用	5,471	16,693
幼稚園型以外		11,800	1,162
確保方策 (B) - (A)		▲ 3,115	0
幼稚園型	1号認定による利用	0	0
	2号認定による利用	0	0
幼稚園型以外		▲ 3,115	0

(10) 病児保育事業 (病児・病後児保育事業)			
【延べ利用人数（人日）】			
		計画	実績
量の見込み (A)		2,005	346
確保方策 (B)		5,280	5,280
差引 (B) - (A)		3,275	4,934

(11) ファミリー・サポート・センター事業			
【延べ利用人数（人日）】			
		計画	実績
量の見込み (A)		5,878	3,929
確保方策 (B)		5,878	3,929
差引 (B) - (A)		0	0

(12) 妊婦健康診査事業			
【(人)】			
		計画	実績
量の見込み (A)		1,021	961
確保方策 (B)		1,021	961
差引 (B) - (A)		0	0

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

市内に新規設置された保育施設を含め保育施設等が円滑に運営することができるよう、基幹型保育所の保育士が相談・助言等を行っている。

令和3年度は新規設置された4施設に対し、相談・助言等を実施した。

(14) 実費徴収に係る補足給付を行う事業（副食費）

【延べ対象者数】

実費徴収に係る補足給付を行う事業（日用品・文房具等）		人
実費徴収に係る補足給付を行う事業（副食費）	217	人

(1) 認定こども園の普及に係る考え方

既存の幼稚園においては、新制度への移行と認定こども園化の意向が見られないため、実績として市内の設置に至っていない。また、当市の待機児童の解消に係る方針としては、保育所の整備を第一義的に進めてきたこともあり、認定こども園の設置については現状予定していない。

(2) 教育・保育と小学校教育の円滑な接続の在り方について

卒園を迎える年度の児童に対し、就学への期待を高めるため基幹型保育所システム事業の一環として、学校訪問事業を計画し、令和3年度は2校実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、8校は中止となったが、代替事業として4校分の学校紹介動画の鑑賞を行った。

(3) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保

施設等利用給付教育時間部分について公正かつ適正な支給を確保し、年度内に処理を終えた。保護者の利便性を勘案しつつ、法定代理受領又は償還払いの給付方法、請求時期等についての周知、施設及び保護者からの問い合わせについても対応を行った。

(1) 教育・保育の質の維持・向上等に係る取組の推進

基幹型保育所システム事業を通じて、提供する保育の質の維持・向上を図るため、市内保育施設職員を対象とした5回の研修事業、エリアごとの各職種別連絡会（2歳児クラス保育士連絡会：2回、5歳児クラス保育士連絡会：3回、看護職連絡会：3回、栄養士連絡会：3回）を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、集合形式にて実施できなかったものについては、オンラインに切り替えて対応した。

(2) 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保の推進

保護者の産休・育休明けの希望に応じて、円滑に教育・保育施設、地域型保育事業を利用できるよう、施設サービスの情報提供を行った。また、市が申込窓口となる保育施設・地域型保育事業については、空き状況を把握し、見学の際のポイントなども情報提供を実施した。

(3) 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する東京都との連携

「児童虐待防止対策の充実」については、児童虐待防止対策の充実を図るため、市内公民館や児童館などに、国や東京都の児童虐待防止普及啓発に関するポスター・グッズを配架した。

「母子家庭及び父子家庭の自立支援の推進」については、児童扶養手当法施行令の改正や未婚のひとり親のみなし寡婦（夫）適用に係る規定についての所要の見直しのため、国や東京都で要綱改正が実施されたことを受け、国分寺市においてもひとり親家庭の自立支援の促進に向けて「自立支援教育訓練給付金事業」「高等職業訓練促進給付金等事業」「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」の規則改正を行った。令和4年度も国・都の動向を注視し、適切に対応を行う。

「障害児施策の充実」については、東京都の障害児施策と連携を取りつつ、障害児を支援する事業所の開設を事業者呼び掛け、障害児相談支援事業所が1箇所、放課後等デイサービス事業所が2箇所、新規開設されるなど、障害児支援体制の整備が着実に進んでいる。また、障害者地域自立支援協議会の相談支援部会に設置している障害児通所支援事業所連絡会において、他分野との連携を協議するなど、障害特性に応じた適切な支援の推進に向け、各事業所と連携を図った。基幹型保育所システム事業では、市内保育施設職員を対象に新たな保育ニーズや課題への取組に対応するための基礎的知識や支援策を学ぶ場として東京都の指定認定研修を企画・実施した。研修は、座学だけでなく、こどもの発達センターつくしんぼ通園事業見学会（計4回）の開催や医療的ケア児の受入れ方法、安全な保育環境、職員配置等をテーマに関係機関と連携をとりながら学ぶ機会を設けた。国分寺市医療的ケア児支援関係者会議においては医療的ケア児及び家族の実態把握のための調査を開始するとともに、医療・保健・福祉・保育・教育各分野にまたがる課題についての共有を行った。

(4) 労働者の職業生活と家庭生活との両立に必要な雇用環境整備施策との連携

令和3年度は、男女平等推進センター主催女性の再就職支援講座（全4回）のうち、第2回目は「いきいきと働くためのセルフコントロール」をテーマに、キャリアプランや家庭生活との両立について考える講座を開催した。アンケートでは講座内容を高く評価されており、参加者にとって有益な講座となったと考えられる。

(5) 要保護児童対策地域協議会実施による関係機関連携の強化

要保護児童対策地域協議会による関係機関連携について、代表者会議・実務者会議の定例会を各1回開催し、要保護児童の現状や対応状況について情報共有した。また、実務者会議進行管理部会を年5回開催し、要保護児童の進行管理を実施した。個別のケースの検討については、個別ケース検討会議を年43回実施し、関係機関と密な連携を図った。

(6) 保育士等の確保・定着

保育士等の確保及び定着につながる取組としては、市内認可保育所の全施設に対し、保育士等の処遇改善を図る処遇改善等加算の補助を行い、市内で保育施設を運営する法人が、雇用する保育士等向けに宿舍を借り上げた場合に、その経費の一部を補助する宿舍借上支援事業を行った（令和3年度実績：36園、181戸）。加えて、保育所等の入所選考に係る「保育の実施基準指数表」の「調整指数表」において、保護者が「保育士・幼稚園教諭・保育教諭の免許を有するものであって、市内の保育所等又は市内の保育所等又は市内の認証保育所および都知事に届け出している認可外保育施設において保育に従事している、又は従事することが決まっている者が入所（転所を除く。）の申込みをする場合」に該当した場合、6点の加点を行い、入所選考を行う取組も実施した。また、令和4年度以降の入所選考に係る「保育の実施基準指数表」の見直しを行い、市外の保育所等又は市外の保育所等又は市内の認証保育所および都知事に届け出している認可外保育施設において保育に従事している、又は従事することが決まっている者が入所（転所を除く。）の申込みをする場合」に該当した場合、4点の加点をする調整指数を新設した。



